

Pioneer



AV一体型
ボイスコントロールCD-ROMナビゲーション

AVIC-XM510

取扱説明書

carrozzeria

目次 6ページ
ジャイロセンサーの
リセット 22ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

⚠ 警告

[使用方法]

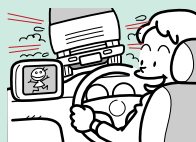
運転中に操作をしない



禁止

ナビゲーションのルート設定や画質の調節を行うときは、画面を長く見る必要があります。自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

[異常時の処置]

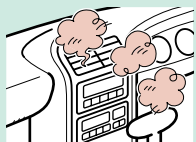
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



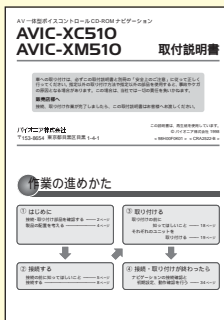
必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

説明書の構成について

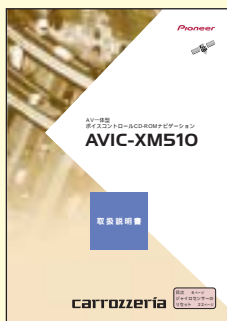
本機には、4種類の説明書が同梱されています。必要に応じて使い分けてください。

取り付けかたや接続のしかたが知りたいときは …………… 取付説明書

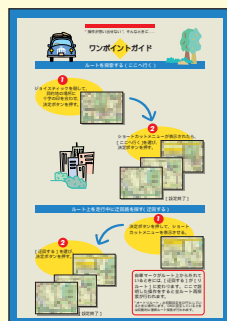


本機取り付けおよび接続、取り付け後に行う操作について説明しています。

本機の基本的な使い方が知りたいときは …………… 取扱説明書(本書) ワンポイントガイド



ディスクのセット、ナビゲーションの基本操作やオーディオの操作などについて説明しています。



ふだんよく使うナビゲーションの機能だけをピックアップしてまとめています。

ナビゲーションの操作を詳しく知りたいときは …………… 使い方辞典



メニューを使って操作するナビゲーションの機能を説明しています。

説明書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

目次

はじめに

主な特長	8
上手にお使いいただくために	10
リモコンの準備	12
各部のなまえと主な働き	13

準備

フロントパネルの開/閉、 角度を調節する	16
ディスクをセットする	18
MDをセットする	20
カーナビゲーションを使い始める前に	22

共通操作

聞きたい音楽を選ぶ	26
音量を調節する	28
瞬時に音量を小さくする	29
映像を切り換える	30
リストを表示させる	32
映像の明るさや色を調整する	34
ワイド画面とノーマル画面を 切り換える	36

ナビゲーションを使う

ナビゲーションの基本操作	38
地図表示の見かた	40
地図の縮尺を変える	41
地図の表示方法を変える	42
高速道路の施設情報を見る	44
メニューの基本的な操作	46
メニューの画面で操作できる機能	48
ルート設定とルート案内について	49
行き先を決める	50
ルート案内を始める	52
音声による誘導・案内	54
ルートの道順を確認する	56
目前の渋滞を迂回する	57
音声で操作してみよう	58
ディスクをセットしたときに 行き先を決める	61

内蔵プレーヤーでCDを聞く

CDの基本操作	62
演奏方法を切り換える	64

内蔵プレーヤーでMDを聞く

MDの基本操作	66
演奏方法を切り換える	68

ラジオを聞く

ラジオの基本操作	70
複数の放送局を自動的に記憶させる	72
放送局を1局ずつ記憶させる	74
記憶された放送局を呼び出す	75
地域の代表的な放送局を受信する	76
交通情報を受信する	78

テレビを見る

テレビの基本操作	80
複数のチャンネルを自動的に 記憶させる	82
チャンネルを1つずつ記憶させる	84
記憶させたチャンネルを見る	85
地域の代表的なチャンネルを 受信する	86
主音声と副音声を切り換える	88

マルチCDでCDを聞く

マルチCDの基本操作	90
聞きたいCDを選ぶ (6/12枚連奏マルチCD)	92
聞きたいCDを選ぶ (50枚連奏マルチCD)	93
同じ曲やCDを繰り返し聞く	94
いつもと違う曲順で聞く	96
曲の最初だけを次々に聞く	97
CDの音質を調整する	98
CD再生を一時停止する	99

その他の機能と付録

音を調整する	100
外部機器の音声を聞く	102
ビデオの映像を見る	103
TVアンテナの設定をする	104
本機を初期状態に戻す	105
現在地がわかる仕組み	106
測位の精度を高めるために	107
GPS測位の精度を高めるために	108
誤差について	109
VICSについて	112
フロントパネル・モニターの 正しい使いかた	114
CDの正しい使いかた	116
MDの正しい使いかた	118
こんなメッセージが表示されたら 故障かな?と思ったら	120
保証書発行兼お客様登録カードと アフターサービス	124
おもな仕様	126
索引	128
ナビゲーション用語の解説	130

すぐに本機を使いたいときは、このマークの付いたページをお読みください。

はじめに

準備

共通操作

ナビゲーションを使う

内蔵プレーヤーでCDを聞く

内蔵プレーヤーでMDを聞く

ラジオを聞く

テレビを見る

マルチCDでCDを聞く

その他の機能と付録

メモ

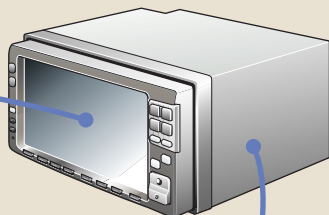
この説明書の中の画面は一例です。実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

主な特長

モニター画面ではナビゲーション、
スピーカーからはお好きな音楽。

5.8インチワイド液晶モニター

ナビゲーションやテレビが楽しめます。
ビデオを接続すればビデオの映像も楽し
めます。



FM/AMチューナー、TVチューナー
ラジオやテレビ放送をしっかり受信。聞
きたい放送、見たい番組をのがしませ
ん。(☞ 70、80ページ)

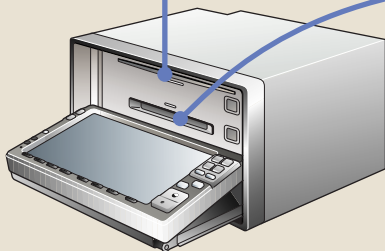
専用CD-ROM対応CDプレーヤー

ナビゲーション用地図ディスクをセッ
トすればナビゲーションができます。

(☞ 38ページ)

もちろん、音楽用CDも聞けます。

(☞ 62ページ)



MDが聞けます

MDライブラリーで快適なドライブをお
楽しみください。(☞ 66ページ)

マルチCDコントロール

別売のマルチCDプレーヤーを接続すれ
ば、たくさんのCDを連続して再生でき
ます。(☞ 90ページ)

マルチMDコントロール

別売のマルチMDプレーヤーを接続すれ
ば、たくさんのMDを連続して再生でき
ます。(☞ マルチMDの取扱説明書)

ナビゲーションでは、こんなことができます

ルート探索

最終的な行き先となる場所を設定するだけで、現在地から目的地までのルート(道順)を自動的に設定してくれます。

(☞ 50ページ)



目的地



到着

目的地に
近付きました。

ルートの道塗り

設定したルートは、一般道が明るい緑色で、高速道路が明るい青色で表示されます。

(☞ 52ページ)



交差点の拡大図

曲がる交差点が近づくると拡大図が表示されます。入り組んだ交差点でも進む方向が一目わかります。

(☞ 52ページ)

出発

おおよそ800m先
右方向です。

音声案内

ルートに沿って走行すると、進む方向などを音声で案内してくれます。

(☞ 54ページ)
また、危険な箇所では注意ポイント案内が、ドライブ開始から2時間経つと、休憩を促すリフレッシュ案内が流れます。

オートリルート

ちょっとした寄道などでルートを外れると、それに応じて自動的にルートが修正されます。

(☞ 53ページ)

注：ここで紹介した機能は、ルートに関するごく一部の機能です。ナビゲーションの機能について詳しくは、『使い方辞典』をご覧ください。

ルート設定およびルート案内では、

最終的な行き先を目的地といいます。

ナビゲーションが自動で設定した、ルートの途中で目印となるポイントを案内地点といいます。

目的地までの道のりをルートといいます。

ルート探索時に立寄り地指定で設定したポイントを立寄り地といいます。

上手にお使いいただくために

お使いになる地図ディスクについて

本機には、付属の全国版地図ディスクか、別売の詳細版地図ディスク「スーパーエリアマップVol.2」シリーズをお使いください。詳細版地図ディスクには、詳しい地図のほか、お店の情報（名称や電話番号など）が多数収録されており、検索機能が充実しております。

別売の詳細版地図ディスク「スーパーエリアマップVol.2」

シリーズのご案内

型番	収録地域	型番	収録地域
CNCD-201	北海道・東北	CNCD-204	近畿
CNCD-202	関東(2枚組)	CNCD-205	中国・四国
CNCD-203	中部	CNCD-206	九州・沖縄

本機では、「スーパーエリアマップVol.1」シリーズはご使用になれません。


安全走行のために

本機には、走行中は操作できない機能があります。（操作すると「走行中は操作できません」と表示されます。）また、走行中にテレビの映像を見ることはできません。

このような場合は、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。

VICS情報を受信する設定にした場合は、VICSの規定により走行中は5.5m未満の細街路は表示しない仕様になっています。

必ず、液晶画面の明るさや黒の濃さを調整してください

液晶モニターは、その構造上きれに見える角度が限られていますが、その角度は明るさや黒の濃さを調整することで変えることができます。初めてお使いになるときは、画面がきれに見えるように、見る角度に合わせて明るさや黒の濃さを調整してください。（ 34ページ）

昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなったとき画面がまぶしくならないように、車のライトをONにすると液晶画面が暗くなります。(日没/日の出の時刻と連動させたり、常に昼画面にしておくこともできます。☞ 『使い方辞典』)

例：地図を表示しているときの画面 (☞ 38ページ)



昼画面



夜画面

本書では、昼画面の色を例にして説明しています。したがって、夜画面のときは、説明の色と実際の色が異なる場合があります。

映像の表示速度について

ナビゲーションの映像は、音楽画面と比べて映像の表示速度が遅くなります。特に、複雑な地図を表示する場合は遅くなりますが、故障ではありません。

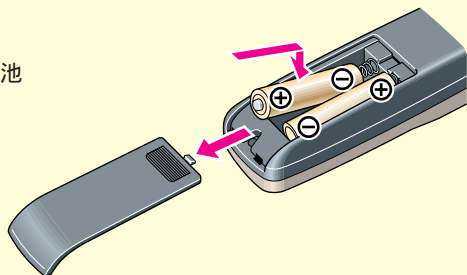
オートアンテナをお使いの場合

本機でラジオ (FM、AM) の受信をすると、オートアンテナがのびます。オートアンテナは、本機の電源をOFFにすれば元の状態に戻ります。車庫入れする際など、オートアンテナの状態に気を付けてください。(VICS/D-GPS/FM多重チューナー「ND-F3」を接続している場合、本機の電源をONにすると、オートアンテナがのびることがあります。)

リモコンの準備

リモコンに電池を入れる

裏ボタンを外して、単4形アルカリ乾電池 (LR03) 2本をセットします。



取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。使用しないときは、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。

リモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。乾電池は充電できません。

リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は幼児の手の届かないところに保管してください。


電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

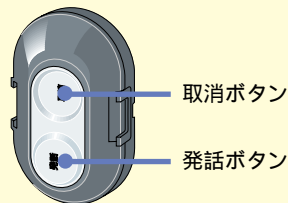
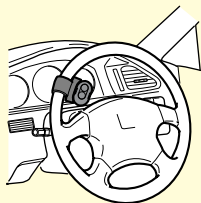
リモコンの操作範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

リモコンの電池を交換するときは、電池寿命の点から、アルカリ電池を使用することをおすすめします。

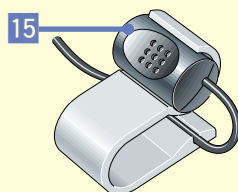
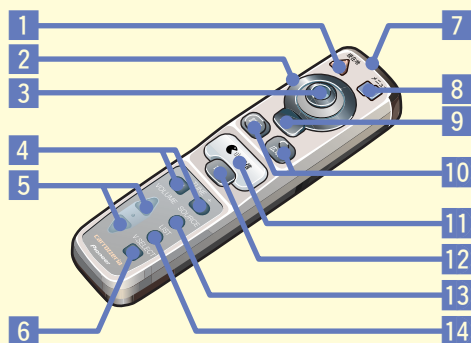
別売のステアリング取付型の音声認識コントローラーについて

別売のCD-ROMナビゲーション用音声認識コントローラー「CD-SR5」は、ステアリング取付型です。ステアリングから手を離さずに、より安全に音声による操作を行うことができます。



「CD-SR5」の発話ボタン、取消ボタンは、本機付属のリモコンの発話ボタン、取消ボタンと同じ働き（ 58ページ）をします。



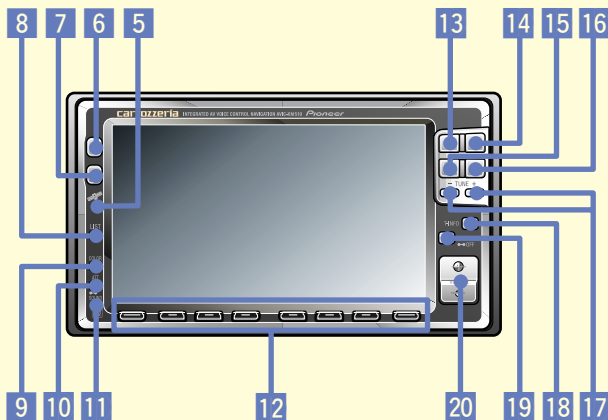
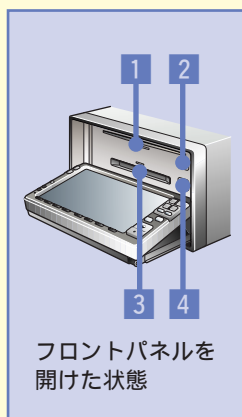
各部のなまえと主な働き



リモコン/マイク









- 1 現在地ボタン (☞ 38ページ)
地図上に自分の車の現在地を表示します。
- 2 電源ボタン (リモコン側面)
ナビゲーションと音楽(ソース)の電源を入/切します。
- 3 ジョイスティック/決定ボタン
地図を動かす(スクロール)ときやメニューを操作するときに使います。
 8方向(上下・左右・斜め)に動かすとジョイスティックになります。
 まっすぐ押すと決定ボタンになります。
- 4 ◀▶ / ▶▶ ボタン
- 5 音量調節(+/-)ボタン (☞ 28ページ)
音量を調節します。
- 6 ビデオセレクト
V.SELECTボタン (☞ 30ページ)
ナビゲーションの映像と音楽画面(テレビやビデオ(VTR)も含む)を切り換えます。
- 7 リモコン送信部
ここをリモコン受光部に向けて操作します。
- 8 メニューボタン (☞ 46ページ)
ナビゲーションのメニュー操作を行うときに押します。
- 9 戻るボタン (☞ 47ページ)
ナビゲーションのメニュー操作で、1つ前の状態に戻りたいときに押します。
- 10 広域ボタン/詳細ボタン (☞ 41ページ)
地図を縮小/拡大します。
- 11 発話ボタン (☞ 58ページ)
音声で操作したいときに押します。
- 12 取消ボタン (☞ 58ページ)
直前の音声での操作を取り消すときに押します。
- 13 ソース
SOURCEボタン (☞ 26ページ)
音楽(ソース)を切り換えます。
- 14 リスト
LISTボタン (☞ 32ページ)
お聞きの音楽(ソース)の動作状態や、ラジオ/テレビなどのリストを表示させます。
- 15 マイク
発話ボタンを押したあとはこのマイクに向かって発話して操作します。

各部のなまえと主な働き (つづき)



本体

- 1 CD挿入口 (☞ 18ページ)
- 2 CDイジェクトボタン (☞ 18ページ)
CDを取り出すときに押します。
- 3 MD挿入口 (☞ 20ページ)
- 4 MDイジェクトボタン (☞ 20ページ)
MDを取り出すときに押します。
- 5 リモコン受光部
- 6 チルト TILTボタン (☞ 17ページ)
フロントパネルの角度を調節します。
- 7 オープン OPENボタン (☞ 16ページ)
フロントパネルを開/閉します。
- 8 リスト LISTボタン (☞ 32ページ)
お聞きの音楽(ソース)の動作状態や、ラジオ/テレビなどのリストを表示させます。
- 9 カラー COLORボタン (☞ 34ページ)
映像の明るさや色などを調整するための調整画面を表示するときに押します。
- 10 アッテネーター ATTボタン (☞ 29ページ)および
サウンド SOUNDボタン (☞ 100ページ)
瞬時に音量を小さくすることができます。また、音質やバランスを調整するための調整画面を表示するときに押します。
- 11 リセットボタン (☞ 105ページ)
- 12 ファンクションボタン
テレビやラジオのチャンネル/放送局を切り換える、映像や音の調整をするなど、いろいろな働きをします。
- 13 テレビ TVボタン (☞ 26ページ)
押すとテレビに切り換わります。
(本機にビデオ(VTR)を接続してある場合、ビデオ(VTR)にも切り換わります。ただし、初期設定画面で「外部映像/音声入力」を「設定あり」にしておく必要があります。(☞ 103ページ))

- 14 CDボタン ( 26ページ)
 音楽用CDが入っているときに押すとCDに切り換わります。
 (本機に別売のマルチCDを接続しているときは、マルチCDにも切り換わります。)
- 15 FM/AMボタン ( 26ページ)
 押すとラジオに切り換わります。
- 16 MDボタン ( 26ページ)
 MDが入っているときに押すとMDに切り換わります。
 (本機に別売のマルチMDを接続しているときは、マルチMDにも切り換わります。また、本機に外部機器(AUX)を接続してある場合、外部機器(AUX)にも切り換わります。ただし、初期設定画面で「外部音声入力」を「設定あり」にしておく必要があります。( 102ページ))
- 17 ◀◀ / ▶▶ ボタン
トラフィックインフォメーション
- 18 T-INFOボタン( 78ページ)
 交通情報を受信します。
- 19 V.SELECTボタン( 30ページ)および
 映像OFFボタン( 31ページ)
 ナビゲーションの映像と音楽画面を切り換えます。また、音声はそのまま、映像のみOFFにすることができます。
- 20 音量調節(+/-)ボタン ( 28ページ)
 音量を調節します。

フロントパネルの開/閉、角度を調節する

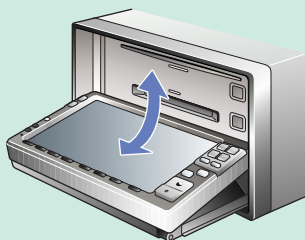
モニターを見る場合、フロントパネルを見やすい角度に調節することができます。



フロントパネルを開ける・閉める



ボタンを押すとフロントパネルが開きます。もう一度押すと、閉まります。




フロントパネルを開けると、CD挿入口とMD挿入口が現れます。

リモコンの取り付け位置によっては、フロントパネルの角度調節を行うと、リモコンでの操作が効かないことがあります。このようなときは、リモコンをリモコン受光部に近づけて操作してください。

フロントパネルの上下動作中は手を触れないでください。誤動作や故障の原因となります。フロントパネルは、開ききった状態のまま使用しないでください。

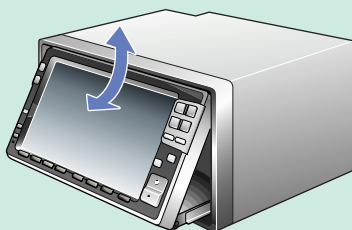
車のエンジンスイッチを切るとフロントパネルは閉まります。

モニターを使用する際は、必ず「モニターの取扱上のご注意」( 114ページ)をお守りください。

フロントパネルの角度を調節する



ボタンを押すと
フロントパネルの
角度が変わります。



フロントパネルを直接手で動かさないでください。フロントパネルに強い力が加わると、故障することがあります。

8段階の角度で調節できます。
最も傾いた状態でもう一度TILTボタンを押すと、
最初の状態に戻ります。

メモ

角度調節を行った最後の角度が記憶されます。角度調節を行った後、フロントパネルの開/閉を行うと、記憶された角度との間で開/閉します。



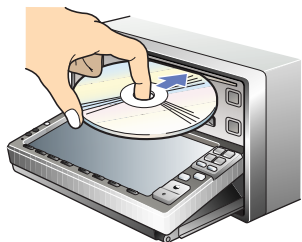
フロントパネルの開/閉、角度調節時は、手・指や衣服をはさまないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

ディスクをセットする

ナビゲーションをするときは、ナビゲーション用地図ディスクをセットします。
また、音楽用CDをセットすれば、音楽も楽しめます。

チェック まず、フロントパネルを開けておきます。(👉 16ページ)

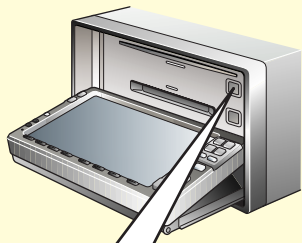
ディスクのタイトル面を上にして、 CD挿入口に差し込む



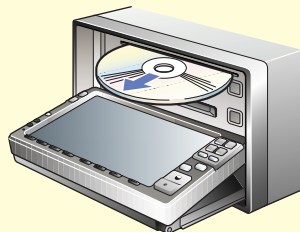
自動的にディスクが引き込まれ、
フロントパネルが閉じます。
本機は、自動的にディスクの種類
を見分けます。

8cm CDもアダプターなしでセッ
トできます。アダプターは絶対に
使用しないでください。

ディスクを取り出すときは



CDイジェクトボタン
を押します。



ディスクが出てきます。
出てきたディスクは、すぐに取り
出し保管してください。

メモ

ナビゲーション用地図ディスクをセットした直後または電源をONにした直後は、本機は地図ディスクを読み込んでいます。そのときは、音楽を切り換えても音声のみ切り換わり表示の切り換わりが遅くなる場合がありますが、しばらくすると表示も正常に切り換わります。

本機では、地図ディスク以外に音楽用CD
が使用できます。

フロントパネルを開けたままでは、操作す
ることはできません。

地図ディスク
をセット
したとき

オープニング画面が表示されます。
(ナビゲーションの準備をしています。)



しばらく
すると

地図が表示されます。
(ディスクによって表示される地図
は異なります。)



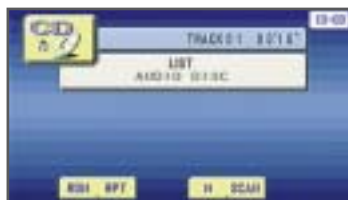
ナビゲーションを続けるときは (☞ 38ページ)
MDなど音楽も聞きたいときは (☞ 26ページ)

ディスクを入れてしばらくすると、ルートが設定されていないときは「どちらまで行きますか?」と聞いてきます。これは、音声操作でルートを探索するためのメッセージです。

音声操作については「音声で操作してみよう」(☞ 58ページ)や「自分の音声で操作を行う」(☞ 『使い方辞典』)をご覧ください。

音楽用CDをセットしたとき

音楽用CDの再生が始まります。



音楽用CDの再生を続けるときは (☞ 62ページ)
MDなど他の音楽を聞くとときは (☞ 26ページ)

電源を入/切する



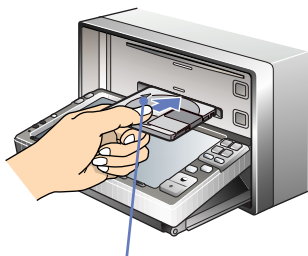
リモコン左側面の電源ボタン
を押します。
ナビゲーションと音楽の全ての
電源をON/OFFします。

MDをセットする

聞きたいMDをセットします。

チェック まず、フロントパネルを開けておきます。(👉 16ページ)

MDを矢印の向きに MD挿入口に差し込む



矢印の向きに差し込みます。

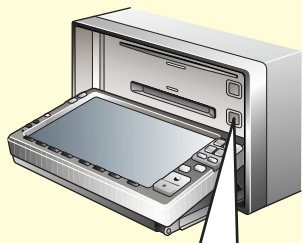
MDのシャッターが閉まっていることを確認してから差し込んでください。

自動的にMDが引き込まれてフロントパネルが閉じ、MD再生が始まります。

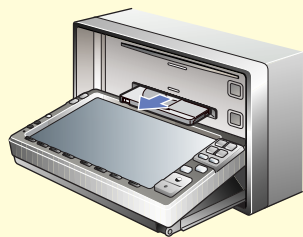


MD再生を続けるときは(👉 66ページ)
CDなど他の音楽を聞くときは(👉 26ページ)

MDを取り出すときは



MDイジェクトボタンを押します。



MDが出てきます。
出てきたMDは、すぐに取り出し保管してください。

メモ

フロントパネルを開けたままでは、操作することはできません。

こ
こ
だ
け
読
め
ば
す
ぐ
使
え
ま
す

準
備

カーナビゲーションを使い始める前に

本機の取り付け完了後や設置場所の変更後、タイヤのサイズを変更した後は、必ずジャイロセンサーのリセット操作を行ってください。

チェック 車のエンジンはかけたままで作業を行ってください。

3 10 4



5 ~ 9

ジョイスティック
と決定ボタン

1 安全な場所に車を止める

以下のような場所を選んで停車させてください。

GPS衛星の電波を受信しやすい、見晴らしの良い場所。
水平で100m程度の長い直線がある場所。(坂道や路面の起伏が大きい場所では、正しくリセットができません。)

2 本機にナビゲーション用地図ディスクをセットする (18ページ)

3 現在地が表示されていないときは、現在地ボタンを押す



現在地の地図が表示されます。



自車マーク

現在地とは違う地図が表示され、自車マークが◎で表示されているときは、現在地の地図に切り換わり、自車マークが⊙または▲になるまで待ってください。(5分以上待っても変わらないときは、GPS衛星の電波を受信しやすい、見晴らしの良い場所へ移動し、手順1からやり直してください。)

メモ

すでに現在地が表示されているときに現在地ボタンを押すと、スカイビュー(3D地図)やツインビュー(分割地図)に切り換わります。この場合は、さらに現在地ボタンを数回押して、ノーマルビュー(2D地図)に戻してください。(地図の表示方法について詳しくは 42ページ)

周囲に高い建物や樹木があったり、ビルの駐車場の中にいたりすると、GPS衛星の電波を受信できないことがあります。

現在地がわかる仕組みについて (106ページ)

4 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる



5 ジョイスティックを上下に動かして [その他の操作] を選び、決定ボタンを押す



6 ジョイスティックを上下に動かして [設定を変える] を選び、決定ボタンを押す



カーナビゲーションを使い始める前に

7 ジョイスティックを上下に動かして [センサー学習状況画面]を選び、決定ボタンを押す



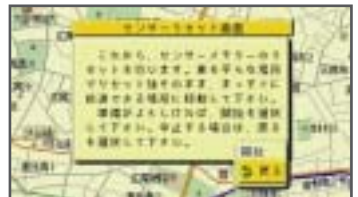
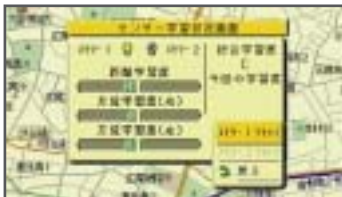
[センサー学習状況画面]を橙色表示にします。



8 ジョイスティックを上下に動かして [メモリー1リセット]を選び、決定ボタンを押す



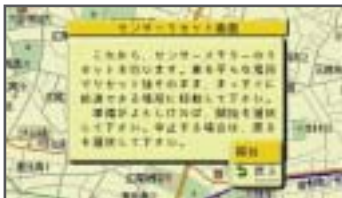
[メモリー1リセット]を橙色表示にします。



9 ジョイスティックを上下に動かして [開始]を選び、決定ボタンを押す



[開始]を橙色表示にします。



“ピッ”と音がなるまで、停車したまましばらくお待ちください。

メモ

ジャイロセンサーにはメモリー1とメモリー2の2つのメモリーがあります。(最初はメモリー1を使います。)メモリー2を使用するときもここで説明した操作を行ってください。(ジャイロセンサーのメモリーについては📖『使い方辞典』)

10 “ピッ”と音がなったら、現在地ボタンを押す



自転車マークが◎になっていることを確認して、次の手順に進みます。

◎になっているときはGPS衛星からの電波が受信できていません。電波を受信しやすい、見晴らしの良い場所に移動し、手順1の操作からやり直してください。

▲になっているときは正しくリセットされていません。手順4の操作からやり直してください。

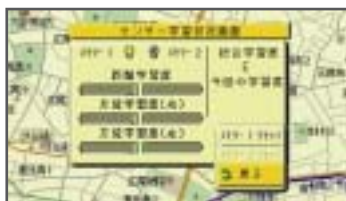
11 現在地が表示されたら車を走行させる

水平な場所を、30km/h以上の速度で10秒以上前方に直進します。

12 自転車マークが変わったことを確認する

リセットが終了すると、自転車マークが◎から▲に変わります。

13 手順4～7の操作をもう一度行い、 [センサー学習状況画面]を確認する



距離学習度、方位学習度(右)(左)のすべての項目のバーが1目盛以上伸びていることを確認してください。

確認が終わったら、現在地ボタンを押して、地図表示に戻してください。

(センサー学習状況画面の見かたについて詳しくは👉『使い方辞典』)

距離学習度が表示されないときは、車速パルスが正しく取れていません。車速信号入力(ピンクリード線)の接続を確認してください。(👉『取付説明書』)確認後、手順1からやり直してください。

初めて本機を使うときは、自転車マークと実際の現在地が大きくずれることがありますが、故障ではありません。誤差を補正する機能の働きにより、走行を重ねるにつれて精度が高くなり、ずれが少なくなってきます。

聞きたい音楽を選ぶ

スピーカーから聞こえる音楽(ソース)を切り換えるときはリモコンのSOURCEボタンを使います。

本体には、一回押すだけで目的の音楽(ソース)に切り換えることのできる便利なボタン(TVボタン、CDボタン、FM/AMボタン、MDボタン)もあります。



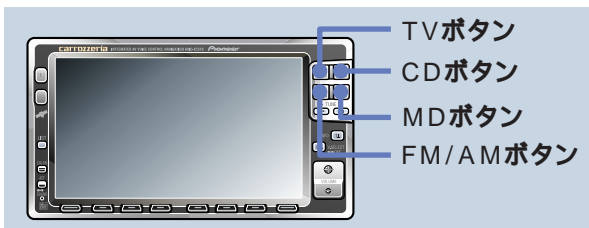
SOURCE
ボタン

マルチCDとは

別売のマルチCDプレーヤー(「CDX-P630S」など)のことです。

マルチMDとは

別売のマルチMDプレーヤー(「MD-P100II」など)のことです。

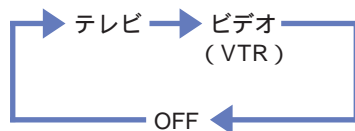


本体で聞きたいソースに切り換える

TVボタンを使って



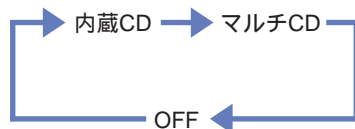
ボタンを押すごとにソースが切り換わります。



CDボタンを使って



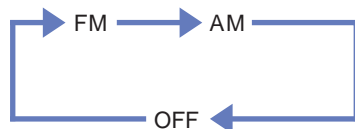
ボタンを押すごとにソースが切り換わります。



FM/AMボタンを使って



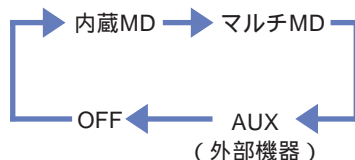
ボタンを押すごとにソースが切り換わります。



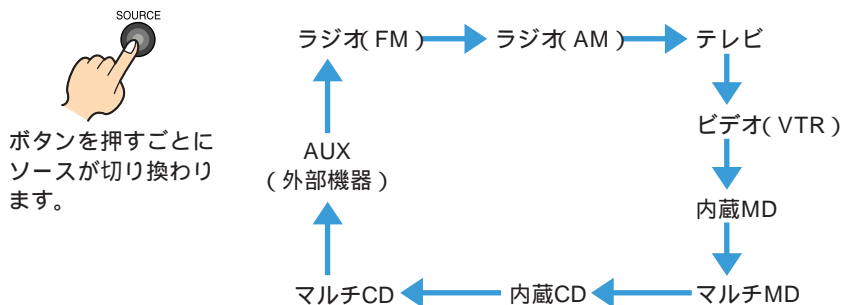
MDボタンを使って



ボタンを押すごとにソースが切り換わります。



リモコンで聞きたいソースに切り換える



音楽(ソース)をOFFにする



ボタンを2秒以上押すと
ソースがOFFになります。



再び音楽を聞くには、もう一度聞
きたいソースを選びます。

メモ

接続されていないソースには切り換わりません。
音楽用CDやMDがセットされていないときは、
そのソースには切り換わりません。

「外部音声入力」を「設定あり」にしないと、
AUXには切り換わりません。
(102ページ)

「外部映像/音声入力」を「設定あり」
にしないと、ビデオ(VTR)には切り
換わりません。(103ページ)

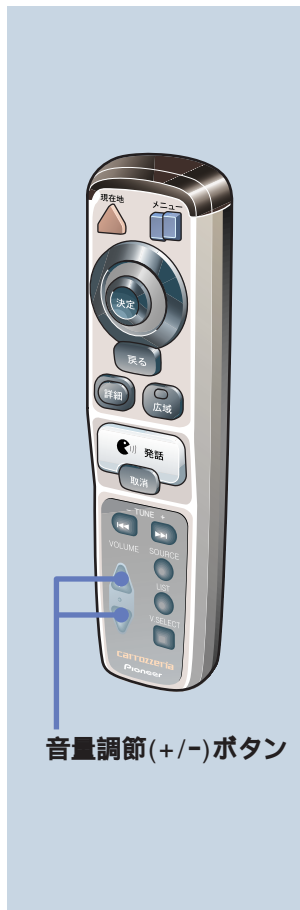
ナビゲーションの映像を見ながらMDを
聞くなど、音楽を同時に楽しむことが
できます。(31ページ)

ナビゲーションの映像(地図が表示さ
れている画面)のときにTVボタンを押
すと、地図表示が消え、テレビやビデオ
(VTR)の音声と映像に切り換わります。
また、SOURCEボタンでテレビやビデオ
(VTR)に切り換えた場合は、ナビゲー
ションの映像のまま音声のみテレビやビ
デオ(VTR)に切り換わります。

音量を調節する

ボリューム

車のスピーカーの音量を調節します。



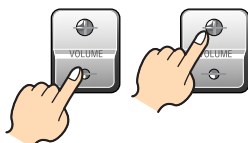
音量調節(+/-)ボタン



音量調節(+/-)ボタン

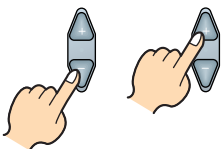
音量を調節する

本体で操作するとき



小さくするとき 大きくするとき

リモコンで操作するとき



小さくするとき 大きくするとき

メモ

パイオニア製の自動車電話を組み合わせた場合、電話を使うと、“MUTE”と表示されて一時的に音量が0になります。使い終わると元の音量に戻ります。

音量は0～30の間で調節できます。



約4秒間表示されます。

瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

ATTボタン



ここだけ読めば
すぐ使えます

瞬時に音量を小さくする



ボタンを押すごとにアッテネーターがON/OFFします。

アッテネーターがONのとき音量が約1/10になります。



アッテネーターがONのときに点滅します。

共通操作

メモ

アッテネーターがONのときに音量調節ボタンを押すと、アッテネーターは自動的にOFF（解除）になります。このときは、アッテネーターがONのときの音量に近い音量になります。

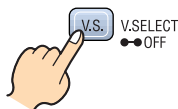
映像を切り換える

ナビゲーション用地図ディスクをセットしているときにナビゲーションの映像と音楽画面を切り換えることができます。



映像を切り換える

本体で
操作するとき



ボタンを押すごとに映像が切り換わります。

リモコンで
操作するとき



ボタンを押すごとに映像が切り換わります。

ナビゲーションの映像



音楽画面



テレビやビデオ(VTR)にソースを切り換えている場合は、テレビやビデオ(VTR)の映像とナビゲーションの映像の切り換えになります。


メモ

地図ディスクがセットされていないときは、「地図ディスクが入っていません。」と表示されます。

ナビゲーション映像のときのソース切り換えについて

ナビゲーションの映像を見ながら、ソースを切り換えることもできます。

(ソース切り換えについては

 26ページ)



ナビゲーションの映像のままにソースを切り換えることができます。

映像をOFFにする

本体で操作するとき



ボタンを2秒以上押すと、音声はそのまま、映像のみOFFにすることができます。

リモコンで操作するとき



メモ

ナビゲーションの映像（地図が表示されている画面）のときにTVボタンを押すと、地図表示が消え、テレビやビデオ（VTR）の音声と映像に切り換わります。また、SOURCEボタンでテレビやビデオ（VTR）に切り換えた場合は、ナビゲーションの映像のまま音声のみテレビやビデオ（VTR）に切り換わります。

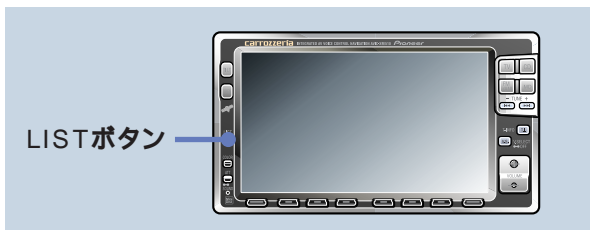
映像をOFFにしているとき、本体ボタンまたはリモコンの音楽を操作するボタンを押すと映像のOFFは解除されます。

ナビゲーション、テレビ、ビデオ（VTR）は何も操作しないと、その映像のみの表示になります。聞いている音楽の操作や、テレビ、ビデオ（VTR）の操作が行いたいときは、一度、ファンクションボタンなどを押し動作状態を表示させてから行ってください。動作状態を表示させてからでないと、音楽やテレビ、ビデオの操作は行えません。

音楽画面からナビゲーションの映像に切り換える場合、現在地の表示が多少遅くなる場合があります。

リストを表示させる

聞いている音楽によって、放送局やチャンネル、CD、MDのリストを表示させることができます。



リストを表示させる

テレビではチャンネル、ラジオでは放送局、CD、MDではディスクのリストを表示させることができます。

本体で操作するとき



リスト表示がON/
OFFします。

リモコンで操作するとき



リスト表示がON/
OFFします。

メモ

ナビゲーションやテレビ、ビデオ (VTR) の映像が表示されている場合は、動作状態も表示されます。

ナビゲーションやテレビ、ビデオ (VTR) の映像が表示されている場合は、リストと動作状態は何も操作を行わないと約8秒間で消えます。

マルチCDの有無が判断できないときはリストに「- - - -」が表示されます。無いと判断したときは何も表示されません。

CD TEXT対応マルチCD (「CDX-P1240TX」など) にCD TEXTをセットすると、CDタイトルが表示されます。

CDのCDタイトルやテレビ、ラジオの放送局名をお好きな名前で登録し表示させることができます。(『使い方辞典』)

CDは全角10文字、MDは全角16文字、半角32文字のディスクタイトルを表示できます。

それぞれのリストについて

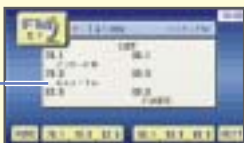
ソースによってリストの内容が異なります。

テレビ



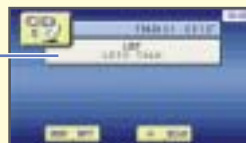
プリセットボタンの内容がリストに表示されます。

ラジオ



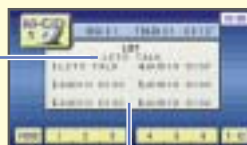
プリセットボタンの内容がリストに表示されます。

内蔵CD



再生中のCDのCDタイトルまたは「AUDIO DISC」が表示されます。

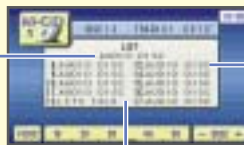
マルチCD(6/12枚連奏)



CD選択ボタンの内容がリストに表示されます。

再生中のCDにタイトルが登録されている则表示されます。

マルチCD(50枚連奏)



再生中のCDの前後数枚のCDの内容が表示されます。

再生中のCD

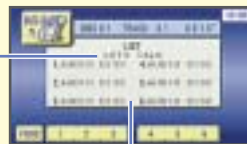
再生中のCDにタイトルが登録されている则表示されます。

内蔵MD



再生中のMDのMDタイトルまたは「AUDIO DISC」が表示されます。

マルチMD



MD選択ボタンの内容がリストに表示されます。

再生中のMDにタイトルが登録されている则表示されます。

映像の明るさや色を調整する

テレビやビデオ (VTR) の映像は、明るさや色などをお好みに合わせて変えることができます。ナビゲーションと音楽画面の映像は、明るさと黒の濃さだけを変えられます。それぞれ車のライトがONのときとOFFのときで別々に調整内容が記憶されます。



1 調整する映像を選ぶ

ソース切り換え(☞ 26ページ)または映像切り換え(☞ 30ページ)で、調整する映像を表示させてください。

走行中はテレビやビデオの映像の調整はできません。

2 映像調整画面を表示させる



ボタンを押すごとに映像調整画面がON/OFFします。

例：テレビ映像のとき



メモ

ナビゲーションとテレビ、ビデオ (VTR) 音楽画面の映像の調整内容は別々に記憶されます。また車のライトがOFFのとき(明るい昼間)とONのとき(暗い夜間)の調整内容が別々に記憶されます。

映像調整画面を表示しているときは音声操作はできません。

3 調整する項目を表示させる（テレビ画面のとき）

「明るさ」「黒の濃さ」を調整できる画面



「色の濃さ」「コントラスト」「色合い」を調整できる画面



「次項」「前項」の下のファンクションボタンを押して、希望の調整項目が含まれる画面に切り換えてください。

4 調整する

例：「明るさ」を調整する場合



「◀明るさ」ボタンまたは「明るさ▶」ボタンを押して明るさを調整します。

項目	◀ 側	▶ 側
明るさ (バックライトの強さ)	弱くなる	強くなる
黒の濃さ (映像の明るさ)	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
コントラスト (明暗)	白黒の差が小さくなる	白黒の差が大きくなる
色合い	肌色が赤みがる	肌色が緑がる

共通操作

5 映像調整画面を消す



ワイド画面とノーマル画面を切り換える

テレビやビデオ（VTR）を見るときに、ワイド画面（16:9の映像）とノーマル画面（4:3の映像）を切り換えて見ることができます。



1 映像をテレビまたはビデオ(VTR)に切り換える

(☞ 30ページ)

2 映像調整画面を表示させる (☞ 34ページ)

3 ワイド画面とノーマル画面を切り換える



ボタンを押すごとに画面モードの表示が切り換わります。

通常のテレビ番組のようなノーマル画面をワイド画面に拡大する場合、ズームとフルの2つの拡大方法があります。ボタンを押すごとに以下のように切り換わります。



メモ

機能の表示など、映像以外のものを画面に表示させるとフルに切り換わります。
映像調整画面を表示しているときは音声操作はできません。

4 映像調整画面を消す



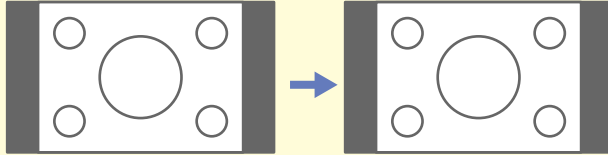
例：ノーマル



選んだ画面に切り換わります。

ノーマル

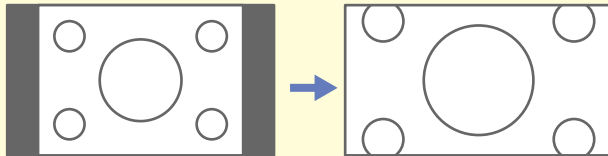
4:3の映像をそのまま表示します。



通常のテレビ番組を違和感なく見るができます。

ズーム

4:3の映像の上下、左右を同じ比率で拡大します。

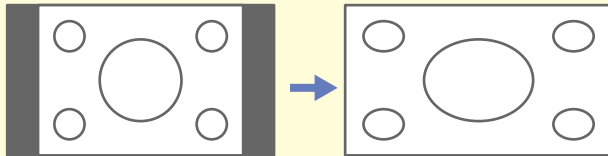


シネマサイズの映像のように、上下に黒帯がついている場合におすすめします。

通常のテレビ番組の画面の場合は、上下が欠けてしまいます。


フル

4:3の映像の左右だけを拡大します。



通常のテレビ番組を、上下左右とも欠けることなくワイド画面で楽しめます。

ナビゲーションの基本操作

本書では、ナビゲーションの、もっとも基本的な操作を紹介します。(詳しい機能については  『使い方辞典』)

自分の車の現在地を確認する



現在地画面になり
ます。


現在地画面




自車マーク

自分の車の現在地と進行方向を表示します。車の走行に合わせて、自車マークと地図が自動的に動きます。

メモ

本機を初めて使うときや、長期間使っていなかったときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。その間は最後に測位した位置が表示されます。すでに現在地が表示されているときに現在地ボタンを押すと、スカイビュー(3D地図)やツインビュー(分割地図)に切り換わります。(地図の表示方法について詳しくは  42ページ)

自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。また、自車マークの向きが実際の進行方向とは異なる場合があります。

ハイウェイモードの画面( 42ページ)のときは、現在地ボタンを押すと、ハイウェイモードの画面での現在位置が表示されます。(すでに現在位置が表示されているときは、地図に戻ります。)

詳細版地図ディスクにて25mスケール詳細市街地図を表示中、収録エリアの端では画面内に地図のない場所が表示され、その上を走行する場合があります。また、文字だけや道路だけが表示される場合があります。





見たい場所まで地図を動かす



地図を動かす方向にジョイスティックを動かします。(上下左右およびその間の斜め方向に動きます。)



ジョイスティックと同じ方向に地図が動きます。

ジョイスティックから手を離すと




スクロール画面





地図を動かすことにより、スクロール画面になります。

メモ

まず、広域の地図を表示しておき、見たい場所まで地図を動かします。それから詳細の地図にしていくと、より早く見たい場所をさがせます。
(地図の縮尺を変えるには  41ページ)

ジョイスティックを倒した状態のときにさらに決定ボタンを押したままにすると、スクロールのスピードが速くなります。


地図表示の見かた

ナビゲーションの地図表示には、現在地画面（ 38ページ）とスクロール画面（ 39ページ）があります。

現在地画面 自分の車（自車）の現在地を表示する画面です。

方位表示
赤い三角が北の方向を示します。

スケール円の半径の距離


スケール円
（ノーマルビュー（ 42ページ）のときだけ表示）

自車の現在地の地名
（表示されないところもあります。）

自車マーク

自車の現在地と進行方向を表示します。車の走行に合わせて、自車マークと地図が自動的に動きます。

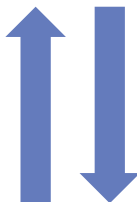


VICSの情報提供時刻
（「ND-F3」を接続したときだけ表示（ 『使い方辞典』）

軌跡表示
今までに通った道です。
（約150 km分表示できません。）

現在の時刻

現在地画面にするときは、
現在地ボタンを押します。



スクロール画面にするときは、
ジョイスティックを動かします。

スクロール画面 見たい場所の地図を表示する画面です。

自車の現在地から
十字カーソルまでの
直線距離



十字カーソル
画面の中心に表示されます。

十字カーソルの位置の地名

地図の縮尺を変える

地図縮尺の変更

より詳しい地図で、細かい道路まで見たいときは、地図を詳細にしてください。
だいたいの位置を知るときや、広い範囲を見るときは、地図を広域にしてください。

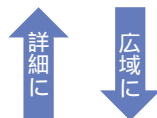
詳細ボタン 広域ボタン



地図の縮尺を変える



広域にするときは、広域ボタンを押します。



詳細にするときは、詳細ボタンを押します。



メモ

広域ボタンまたは詳細ボタンを押し続けると縮尺が連続的に変化します。(フリーズーム)
詳細版地図ディスクにて、25mスケール詳細市街地図収録エリアの端でショートカットメニューやメニューを開くと25mスケール詳細市街地図から抜けて、通常の25mスケールに変更になる場合があります。

ここだけ読めば
すぐ使えます

ナビゲーションを使う

地図の表示方法を変える

利用状況に応じて、地図の表示方法を変えることができます。高速道路上にいるときは、ハイウェイモードに切り換えることもできます。

チェック 現在地画面になっていることを確認してください。(📖 38ページ)

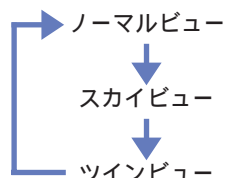
現在地ボタン



現在地画面のときに 現在地ボタンを押す



ボタンを押すごとに表示方法が切り換わります。



高速道路上にいるときに ハイウェイモードに切り換える



ボタンを2秒以上押し続ける

(ハイウェイモードのときに現在地ボタンを押すと、地図表示に戻ります。)



画面右側に地図(サイドマップといひます)を表示します。

メモ

ツインビューまたはハイウェイモードのとき、画面上に現在時刻(時計)は表示されません。

ハイウェイモードのときは、サイドマップのスケールが25m、50mの場合には、自動的に100mになります。

ハイウェイモードでJCT等が実際の形状と異なる場合があります。

自転車マークが高速道路上にないときは、ハイウェイモードに切り換えても、数秒後に地図表示に戻ります。

ノーマルビュー

通常の地図（平面の地図）で表示されます。



スカイビュー

あたかも上空からヘリコプターで見てるように地図を表示します。



ツインビュー

画面を左右に分割して表示します。自車位置と目的地など、2つの場所を同時に見ることができます。



右画面はノーマルビュー表示で、常に自車位置を表示します。（縮尺は25m、50m、100mから選ぶことができます。（☞『使い方辞典』）

左画面では、地図の移動（スクロール）や縮尺の変更ができます。また、ノーマルビューかスカイビュー表示を選ぶことができます。（☞『使い方辞典』）

ハイウェイモード


高速道路走行の専用画面です。前方の高速道路施設までの距離、高速の分岐方向、高速を降りた後の一般道路の方面案内などが表示されます。目的地までの距離、到着予定時刻も表示されます。

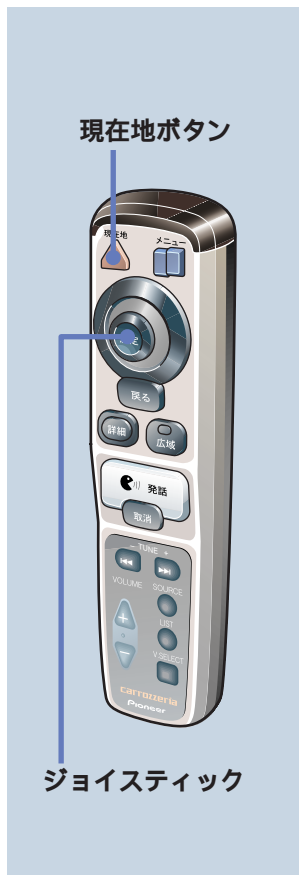


高速道路看板の距離表示とナビゲーションの距離表示や音声での距離案内が違う場合があります。

高速道路の施設情報を見る

ハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離などを確認できます。本線上や分岐先の施設の情報を見ることも可能です。

チェック ハイウェイモードへの切り換えかたは ( 42ページ)



ジョイスティックを
上に動かすと















先の施設情報が表示されます。
ジョイスティックを逆に倒せば、前の施設情報に戻ります。

メモ

詳細版地図ディスクでは、1kmスケールの地図収録エリア内を走行中のみハイウェイモードに切り換えることができます。(ハイウェイモードのときに収録エリア外に移動した場合は、ハイウェイモードは自動的に解除されます。)

サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

-  ガソリンスタンド（各ガソリンスタンドのマークが表示されます。例：出光興産）
-  身障者用トイレ
-  おみやげ屋
-  レストラン
-  休憩所
-  コインランドリー
-  風呂
-  シャワー
-  郵便ポスト
-  ファクシミリ
-  仮眠所
-  案内所

ハイウェイモードの現在地表示に戻りたいときは

現在地ボタンを押すと、現在走行中の位置から向かっている施設の表示に戻ります。現在地を表示させておくと、車の走行に合わせて、自動的に施設の情報が切り換わります。
 （すでに現在地が表示されているときに現在地ボタンを押すと、地図表示に戻ります。）

高速道路の施設が近接しているような場合には表示の自動切り換えが間に合わないことがあります。

ここだけ読めば
すぐ使えます

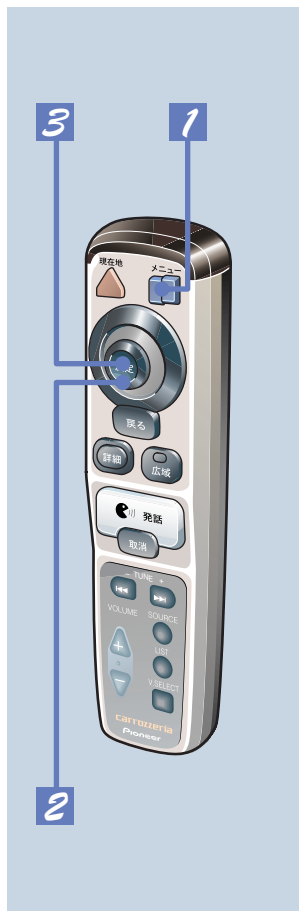
ナビゲーションを使う

メモ

VICS/D-GPS/FM多重チューナー「ND-F3」（別売）を組み合わせると、現在地付近の混雑/渋滞情報を表示できるようになります。また、VICS用ビーコン受信機「ND-B2」（別売）を追加接続すると、パーキングエリア/サービスエリアの駐車場満空情報（「P満車」など）を表示できるようになります。

メニューの基本的な操作

メニューには、ナビゲーションの便利な機能がたくさんあります。ナビゲーションを使いこなすために、メニューの基本的な操作をしっかりと覚えておきましょう。



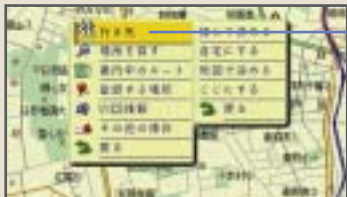
地図表示



1 メニュー画面にする

現在地画面とスクロール画面のどちらの画面でも、メニューボタンを押すとメニュー画面になります。

メニュー画面



現在選ばれている項目が
橙色に表示されます。

2 項目を選ぶ

ジョイスティックを動かして、選
びたい項目を橙色に表示させます。

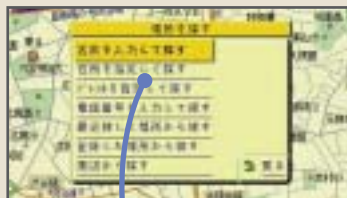
下の項目を選
ぶときは、下に
動かす



上の項目を選
ぶときは、上に
動かす



[場所を探す]の次のステップ

3 選んだ項目に
決定する

決定ボタンを押すと、選んだ項
目の次のステップに進みます。

4 操作を繰り返す

同じようにして項目を選び、決定
していくことで、いろいろな機能
を使うことができます。

メモ

メニューの項目の中の[戻る]を選んで、決定ボタンを押すか戻るボタンを押すと、前の画面に戻ります(どこまで戻るかは状態により異なります)。

途中で操作がわからなくなったときは、メニューボタンを押してください。メニュー操作が中止され、地図の画面になります。

メニュー画面で操作できる機能

メニューの種類

メニュー画面で利用できる機能をご紹介します。(詳しくは「[使い方辞典](#)」)

【行き先】([50ページ](#))

ドライブの行き先が決まっていれば、その行き先をセットするだけで、自動的に道順を決めてくれます。

曲がる交差点も音声で案内してくれるので、知らない道でも迷うことなくドライブできます。



【場所を探す】

現在地やスクロール先周辺のコンビニ、ガソリンスタンドなどを探すことができます。別売の詳細版地図ディスクでは、ホテル、遊園地などの電話番号や名前から、その施設周辺の地図を表示させることができます。



【案内中のルート】

設定されているルートを修正したり、登録しておくことができます。



【登録する場所】

友人の家や気に入ったレストランなど覚えておきたい場所を登録しておくことができます。



【VICS情報】

VICS(道路交通情報通信システム)の情報を見ることができます。



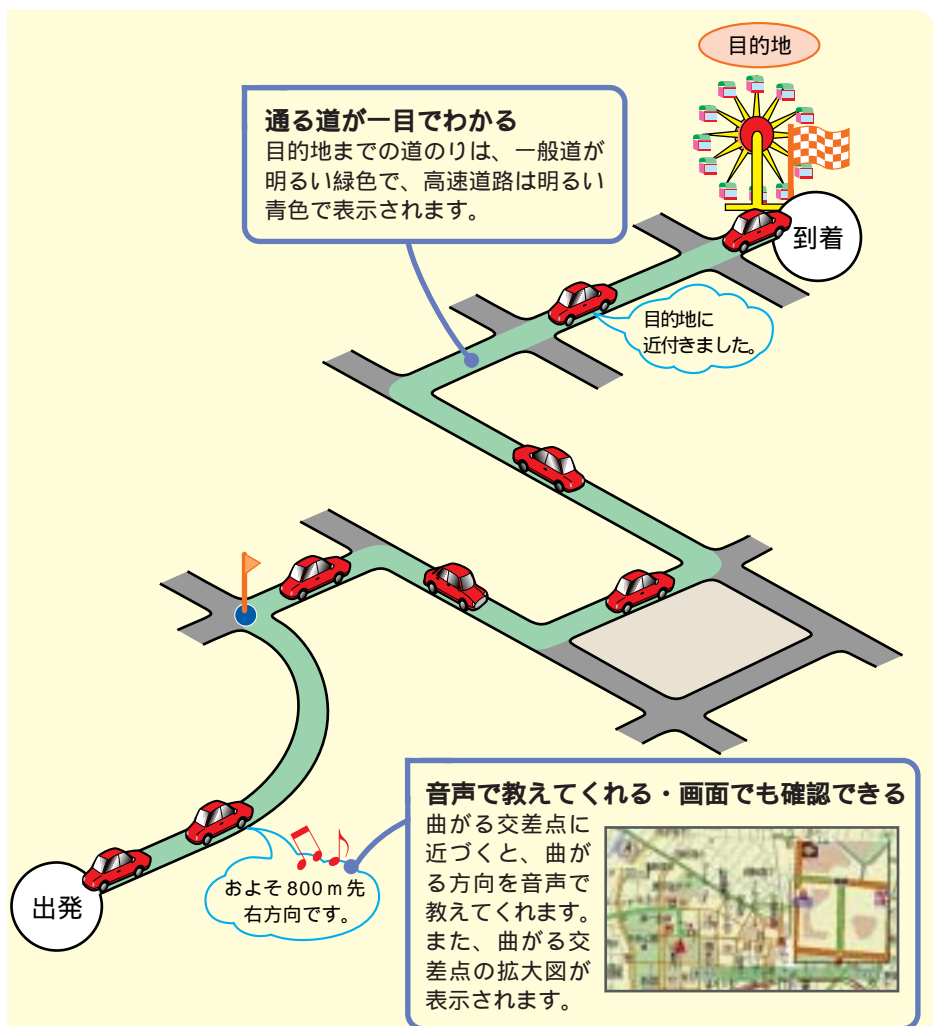
【その他の操作】

お店のマークを表示させたり各種設定を変更することができます。



ルート設定とルート案内について

ドライブの行き先を本機にセットすると、目的地(最終的な行き先)までの道順(ルート)が地図上に表示されます。ドライブを開始すると、目的地までの道のりを本機が案内してくれます。

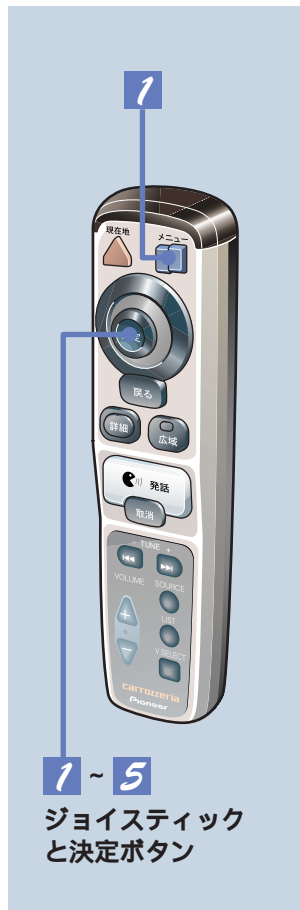


ルート設定およびルート案内では、最終的な行き先を目的地といいます。ナビゲーションが自動で設定した、ルートの途中で目印となるポイントを案内地点といいます。目的地までの道のりをルートといいます。ルート探索時に立寄り地指定で設定したポイントを立寄り地といいます。

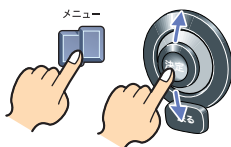
行き先を決める

ドライブの行き先を決めるだけで、現在地から行き先までの推奨の道順を、本機が自動的に地図上に表示してくれます。

チェック 最初に、メニューの基本操作を覚えましょう。(👉 46ページ)



1 メニュー画面を表示させ、[行き先] を選び、決定ボタンを押す



2 行き先を探すため[地図で決める] を選び、決定ボタンを押す



3 行き先に十字カーソルを合わせて決定ボタンを押す



メモ

手順3で決定ボタンを押す前なら、地図を広域にして地図を動かすことができます。より早く行き先を探すことができます。

4 [探索開始]を選び、決定ボタンを押す



行き先が設定され、旗マークが付きます。



現在地から行き先までのルートを探し始めます。(探し終わるまでの時間は、現在地と行き先の位置によって異なります。)

5 ルート探索が終わりルートの候補が表示されたら、好みのルートを選び、決定ボタンを押す



ルートが設定されます。続いて「ルート案内を始める」(☞ 52ページ)をお読みください。

高速道路看板の距離表示とナビゲーションの距離表示や音声での距離案内が違う場合があります。

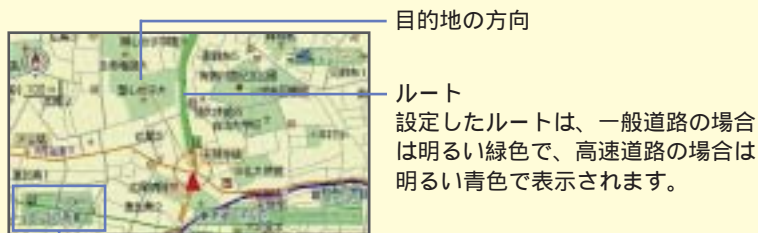
ルート案内を始める

ルートの設定が終わったら、いつでもドライブを始めることができます。目的地に向かって走り始めると、本機が目的地までの道のりを案内してくれます。

チェック 出発前には、現在地ボタンを押して現在地画面にしてください。

ルートを設定したときの現在地画面

ルートを設定したときは、画面上に次の表示が出て、目的地までの道のりを案内します。



到着予想時刻と目的地までの距離
予想時刻は、平均速度が一般道30km/h、高速道80km/hで、ルート上を走行したときのものです。(ルートから外れた場合などは*:*:*と表示されます。)



交差点が近づくと

交差点の拡大画面

ルート上の交差点に近づくと、交差点付近の拡大図が表示されます。交差点を通過すると、拡大図は消えます。



交差点によっては、拡大図が表示されないこともあります。

詳細版地図ディスクでは、1kmスケールの地図収録エリア外を走行中は、交差点拡大図や音声案内などのルートの案内はされません。


メモ


音声による案内について(54ページ)

ルートから外れたときは

予定外のちょっとした寄り道などでルートから外れてしまっても、案内中のルートに戻るよう、自動的にルートが修正されます（オートリルート）。

メモ

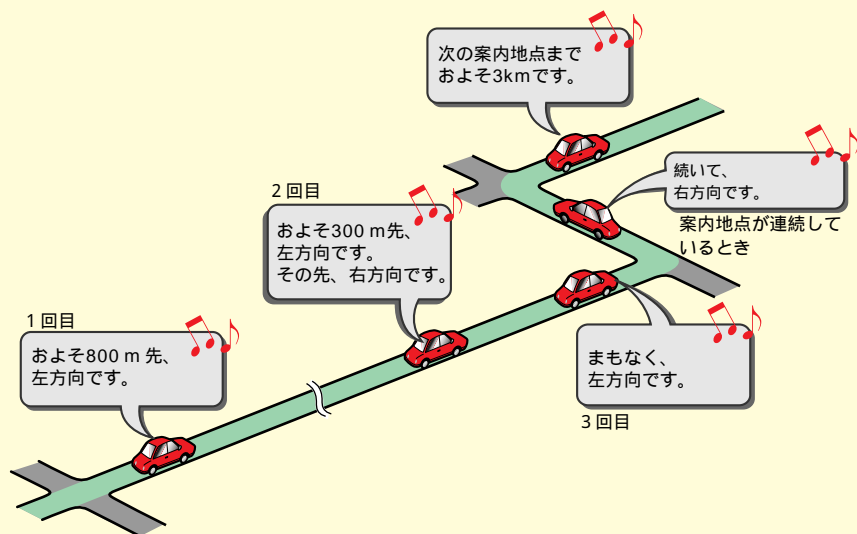
オートリルートは[ルートの初期設定]メニューの[オートリルート]でON/OFFできます。( 『使い方辞典』)

オートリルートをOFFにしているときにリルートを行いたい場合は、ショートカットメニューのリルートを行ってください。( 『使い方辞典』)

音声による誘導・案内

ルートに沿って走行すると、ルート状況や車の速度に応じて、音声で道案内されます。

一般道路での誘導・案内 車の速度に合わせ、交差点の手前で最大3回、音声案内が聞こえます。また、そのタイミングに合わせて交差点拡大図も表示されます。ふたつの交差点の間隔が150m以内の場合は、拡大図が途切れることなく表示されます。



高速道路での誘導・案内 1回目の音声案内の後、インターチェンジやジャンクションの500m手前で交差点拡大図が表示と同時に、高速道路の場合には出口の料金所で料金の案内と出口後の方向案内もしてくれます。

メモ

音声案内が流れるときに、交差点名も案内されるように設定することができます。([ルートの初期設定]メニューの[ルート音声案内]の項目で設定します。詳しくは『使い方辞典』)

料金案内は、1998年4月現在の普通車のもので、正しくは、料金所窓口で確認してください。

ルート案内での高速道路出口料金案内は、最初にルートを設定したときの入口から出口までの料金を案内します。高速道路に入ってからルートを設定した場合や途中でルートを変更した場合(オートリルートを含む)には料金案内が実際と異なり、案内されないことがあります。

音声案内の種類

7方向の音声案内が流れます。



側道案内

およそ m 先、側道を左方向です。

合流案内

まもなく、合流です。

高速（有料）道路入口・出口案内

高速（有料）道路料金所案内

高速（有料）道路料金案内

リフレッシュ案内

例：そろそろ2時間になります。休憩しませんか？

注意ポイント案内

ライト点灯案内

例：まもなく日没になります。ライトの点灯を確認しましょう。

音声案内は、走行速度・右左折案内のタイミングにより案内されない場合があります。

誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは異なる場合があります。

走行中の道路の先に踏切がない場合でも、近くに踏切があれば踏切の注意ポイント案内が流れる場合があります。

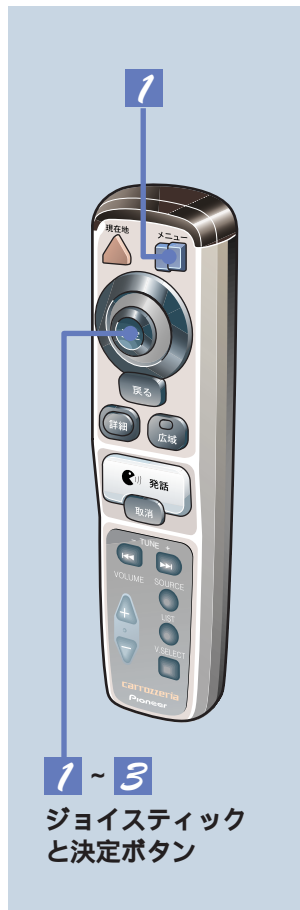
高速・有料道路案内は、一部の高速・有料道路で案内されない場合があります。

ルートの道順を確認する

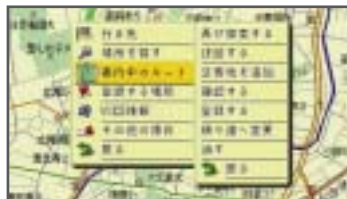
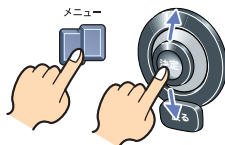
ルートスクロール

設定したルートをひと通り見たいときは、ルートに沿って地図を動かすことができます。

チェック 最初に、メニューの基本操作を覚えましょう。(👉 46ページ)



1 メニュー画面を表示させ、[案内中のルート]を選び、決定ボタンを押す



2 [確認する]を選び、決定ボタンを押す



3 ルートに沿って地図を動かす



先に進むとき



前に戻るとき

十字カーソルがルートに沿ってスクロールします。



(しばらくしてからジョイスティックを離すと、後は自動的に動きます。)

メモ

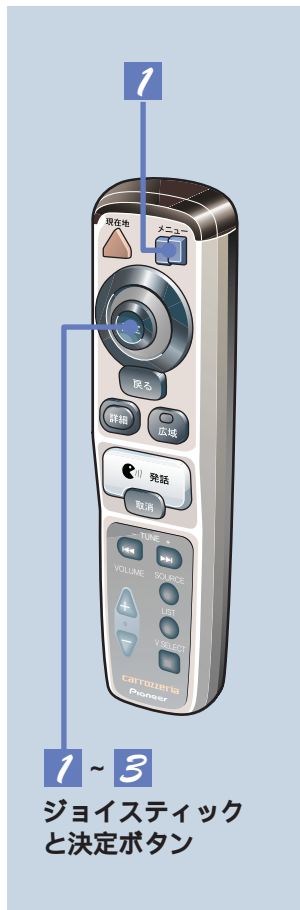
ルートの確認が終わったら、現在地ボタンを押してルートスクロールモードを解除してください。

目今の渋滞を迂回する

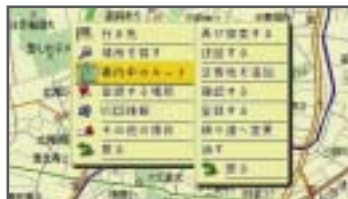
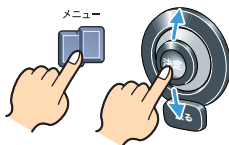
迂回路探索

事故などで目今の道路が渋滞している場合でも、渋滞を迂回するようにルートを修正できます。

チェック 最初に、メニューの基本操作を覚えましょう。(👉 46ページ)



1 メニュー画面を表示させ、[案内中のルート]を選び、決定ボタンを押す



2 [迂回する]を選び、決定ボタンを押す



3 迂回する距離を選び、決定ボタンを押す



選んだ距離を迂回するルートを探し始めます。

探索が終わると

修正したルートが自動的に設定されます。

道路形状により迂回しない場合があります。

ナビゲーションを使う

音声で操作してみよう

本機では、マイクを使い音声でいろいろな操作を行うことができます。ここでは、初めての音声操作として、駅名を手がかりに「代々木」駅の地図を表示させてみましょう。

チェック 詳しくは『使い方辞典』をお読みください。

1



取消ボタン

メモ

発話ボタンを押してナビゲーションが発話待ちの状態になっているときは、他の操作ボタンを押しても「ピッ」という操作音は鳴りません。

他の操作ボタンを押したときは、発話待ちの状態は解除されます。

音楽の操作も音声で行えます。詳しくは、『使い方辞典』をお読みください。

音声で操作するときのご注意

本機に発話を正しく認識させるためには、「音楽の音量を下げる」「窓を閉めておく」「音声認識語を正しく発話する」など、いくつか気をつけていただきたいことがあります。

ここでの操作が正しく行えなかったときは『使い方辞典』をお読みになり、音声での操作のしかたを確認してください。

発話中に自動的に音楽の音量を下げるすることができます。詳しくは、『使い方辞典』をお読みください。

1

発話ボタンを押す



音声
キャラクター



発話ボタンを押すと画面が切り換わり、「プッ」と音が鳴ってナビゲーションが発話待ちの状態になります。

(音声キャラクターが首を傾けます。)

音声操作のポイント

最初に発話ボタンを押して「ボイスヘルプ」と発話すると、ナビゲーションが受け付け可能な基本的なことばを順に読み上げてくれます。その中から操作を選び発話すると、先の操作に進むことができます。(手順1で約5秒間発話しなかったときも、同じようにボイスヘルプのメッセージが流れます。)

“プッ”と鳴ってから発話してください。

“プッ”と音が鳴ってから約5秒間発話しないと、発話はなかったものと解釈されます。この場合は、もう一度発話ボタンを押してから、発話してください。

発話が正しく認識されなかったときは、取消ボタンを押すか「もどる」と発話すると再度、発話し直すことができます。しかし、1回の発話で動く機能の場合は、取消しボタンや「もどる」と発話しても機能しません。

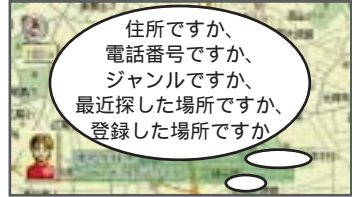
認識できなかった場合、1回目は「もう一度発話してください。」とメッセージが流れます。2回目以降は“プッ”と鳴り再度発話ボタンを押すまで発話は受け付けられなくなります。

操作がわからなくなったときは“終了”と発話してください。音声操作が中止され、地図画面に戻ります。

2 “プッ”と鳴ったら、マイクに向かって 「場所を探す」と発話する



“ ばしょをさがす ”

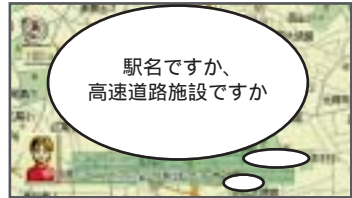


発話が、正しく認識されていれば“ ばしょをさがす ” ナビゲーションが次に受け付け可能なことばを読み上げてくれます。

3 “プッ”と鳴ったら、マイクに向かって 「ジャンル」と発話する



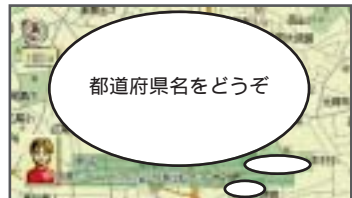
“ じゃんる ”



4 “プッ”と鳴ったら、マイクに向かって 「駅名」と発話する



“ えきめい ”



メモ

別売の詳細版地図ディスクをお使いのときは、手順3のナビゲーションの応答メッセージの数が増えます。

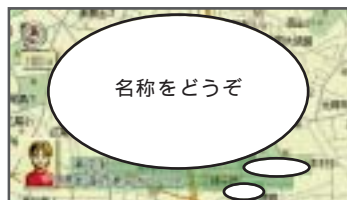
音声で操作してみよう (つづき)

音声による場所呼び出し

5 “プッ” と鳴ったら、マイクに向かって「東京都」と発話する



“とうきょうと”



6 “プッ” と鳴ったら、マイクに向かって「代々木」と発話する



“よよぎ”



地図が表示されます。

このように、ナビゲーションが応答メッセージとして、次に受け付け可能なことばを読み上げてくれます。その応答メッセージに答える形で発話していただくだけで、簡単に音声による操作を行うことができます。

音声での操作について詳しくは、『使い方辞典』の「自分の音声で操作を行う」をお読みください。

メモ

JRと地下鉄など、複数の路線が通過する駅では、手順6の操作の後、路線名を選ぶためのリストが表示されることがあります。この場合は、リストから路線名を選び、その番号を発話してください。

ディスクをセットしたときに行き先を決める

音声によるルート探索

ナビゲーション用地図ディスクをセットすると「どちらまで行きますか?」と聞いてきて、行き先を決めるように促します。そのまますぐに行き先を発話するだけで、ルートを探索させることができます。

チェック 最初に、音声操作の基本を覚えましょう。(📖 58ページ)



取消ボタン

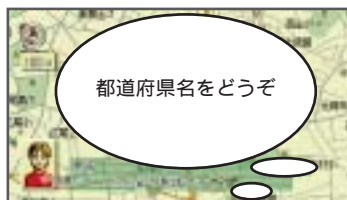
ここでは、例として「代々木」駅までのルートを探索してみます。実際に操作するときは、ご自分の地域の最寄りの駅名に置き換えて、発話してみてください。

ナビゲーションが「どちらまで行きますか?」と聞いてきたら

1 マイクに向かって「駅名」と発話する



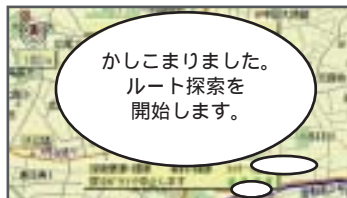
“えきめい”



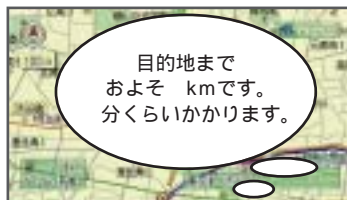
2 前ページの手順5～6の操作を行い、「代々木」を行き先にする



“よよぎ”



探索が終わると



目的地までのおおよその距離と所要時間が案内されます。

メモ

ナビゲーションが「どちらまで行きますか?」と聞いてきてから約5秒間発話しないと、続いて発話を促す応答メッセージが流れます。さらに約5秒間何も発話しないと、音声操作のモードが解除されます。

住所や電話番号、登録地点名などを発話して、行き先にもすることもできます。(詳しくは📖『使い方辞典』)

ルート探索自動誘導の設定を切り換えることにより手順1で発話ボタンを押さないと操作できないようにしたり、ディスクをセットしても聞いてこないようにすることもできます。(詳しくは📖『使い方辞典』)

CDの基本操作

CDをセットする

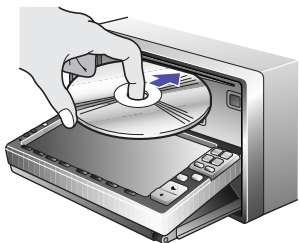
曲を選ぶ

ここで説明する操作だけで、音楽用CDを聞くことができます。

1 ソースをCDにする

CDをセットする

( 18ページ)



ソースをCDにする

( 26ページ)



再生中のCDのCDタイトルまたは、「AUDIO DISC」が表示されます。





2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

本体で操作するとき



リモコンで操作するとき



- ◀◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)
- ▶▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)



曲番号 再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択…押してすぐに離す
曲の早送り/早戻し…0.5秒以上押し続ける

3 CDの再生を終わる

CDを取り出す

(☞ 18ページ)



ソースをOFFにする

(☞ 27ページ)

メモ

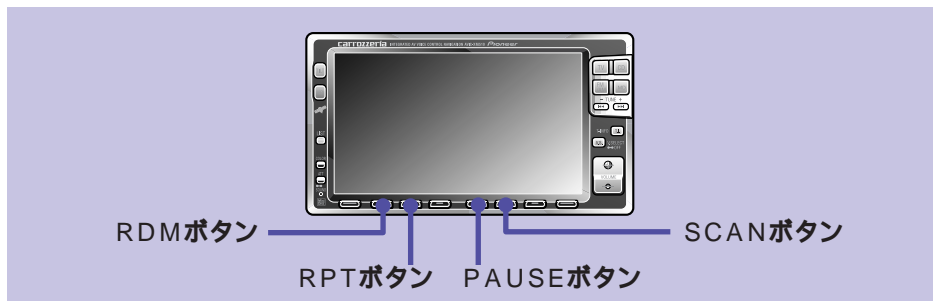
CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやマルチCDなど)に切り換えることもできます。(☞ 26ページ)

内蔵CDで音楽用CDを聞いているときは、ナビゲーションの映像は見られません。ナビゲーションの映像を見るときは、CDを取り出してナビゲーション用地図ディスクをセットしてください。

CDタイトルの登録のしかたについては『使い方辞典』をお読みになりCDタイトルを登録してください。

演奏方法を切り換える

内蔵CDの演奏方法を切り換えて聞くことができます。
演奏方法には、リピート再生とランダム再生があります。また、スキャン再生を使うと、各曲の最初の10秒間だけを聞いて曲を確認することができます。



リピート再生する

リピート再生をONにすると、今聞いている曲を繰り返し再生します。



ボタンを押すごとに、リピート再生がON/OFFします。



ONのとき赤色で表示されます。

ランダム再生する

ランダム再生をONにすると、次の曲から曲順をランダムに再生します。



ボタンを押すごとに、ランダム再生がON/OFFします。



ONのとき赤色で表示されます。

スキャン再生する

スキャン再生をONにすると、次の曲から、曲の最初の約10秒間だけを再生します。曲の確認をするときに便利です。



ボタンを押すごとに、スキャン再生がON/OFFします。



ONのとき赤色で表示されます。

一時停止する/演奏を再開する



ボタンを押すと一時停止します。もう一度押すと演奏が再開します。



一時停止中に赤色で表示されます。

一時停止中に表示されます。

メモ

リピート再生/ランダム再生/スキャン再生のどれか1つのみ選択できます。

スキャン再生は始めた曲まで戻ると、スキャン再生は自動的に解除されます。

MDの基本操作

MDをセットする

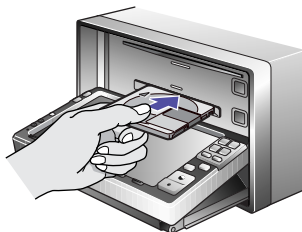
曲を選ぶ

ここで説明する操作だけで、MDを聞くことができます。

1 ソースをMDにする

MDをセットする

(20ページ)



ソースをMDにする

(26ページ)



再生中のMDのMDタイトルまたは、「AUDIO DISC」が表示されます。





2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

本体で操作するとき



リモコンで操作するとき



◀◀: 前の曲を選ぶとき(または早戻し)

▶▶: 次の曲を選ぶとき(または早送り)



曲番号 再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

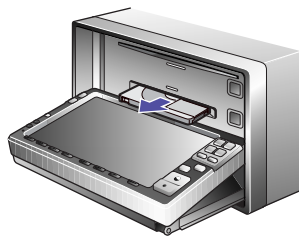
聞きたい曲の選択……押してすぐに離す

曲の早送り/早戻し……0.5秒以上押し続ける

3 MDの再生を終わる

MDを取り出す

(☞ 20ページ)



ソースをOFFにする

(☞ 27ページ)

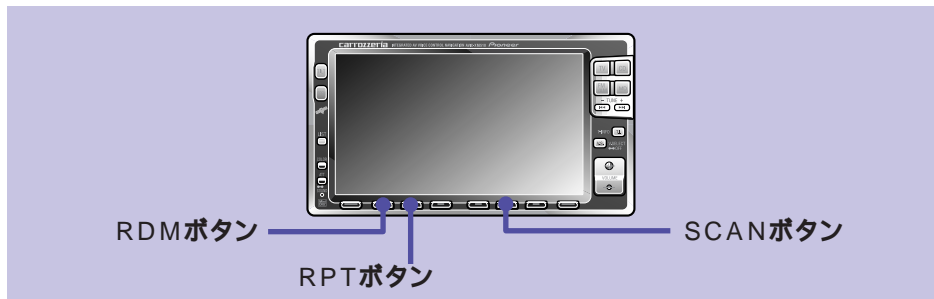
メモ

MDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやマルチCDなど)に切り換えることもできます。
(☞ 26ページ)

ナビゲーションの映像が表示されている場合、リストと動作状態は何も操作を行わないと約8秒間で消えます。

演奏方法を切り換える

内蔵MDの演奏方法を切り換えて聞くことができます。
演奏方法には、リピート再生とランダム再生があります。また、スキャン再生を使うと、各曲の最初の10秒間だけを聞いて曲を確認することができます。



リピート再生する

リピート再生をONにすると、今聞いている曲を繰り返し再生します。



ボタンを押すごとに、リピート再生がON/OFFします。



ONのとき赤色で表示されます。

ランダム再生する

ランダム再生をONにすると、次の曲から曲順をランダムに再生します。



ボタンを押すごとに、ランダム再生がON/OFFします。



ONのとき赤色で表示されます。

スキャン再生する

スキャン再生をONにすると、次の曲から、曲の最初の約10秒間だけを再生します。曲の確認をするときに便利です。



ボタンを押すごとに、スキャン再生がON/OFFします。



ONのとき赤色で表示されます。

メモ

ナビゲーションの映像が表示されている場合、ファンクションボタンを押し、ファンクションボタンの表示をさせてから操作を行ってください。

リピート再生/ランダム再生/スキャン再生のどれか1つのみ選択できます。

スキャン再生は始めた曲まで戻ると、スキャン再生は自動的に解除されます。

ラジオの基本操作

FM/AMを選ぶ

ここで説明する操作だけで、ラジオを聞くことができます。

1 ラジオのFMかAMにする (☞ 26ページ)



放送局を選ぶ

ここだけ読めば
すぐ使えます



2 放送局を選ぶ

本体で操作するとき



リモコンで操作するとき



- ◀◀ : 低い周波数の局を選ぶとき
- ▶▶ : 高い周波数の局を選ぶとき



周波数 放送局名

選局方法の使い分け

- 手動選局 押してすぐに離す
(1ステップずつ)
- 自動選局 0.5秒から1.5秒の間
押し続ける
- 手動選局 (連続) 1.5秒以上押し続ける

3 ラジオの受信をやめる

ソースをOFFにする
(☞ 27ページ)

メモ

電波が強く受信状態のよい放送局を選局するには自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには手動選局をおすすめします。

代表的な放送局名はすでに登録されています。その放送局名を変更したり、新規で登録する場合については『使い方辞典』をお読みになり、放送局名を変更してください。

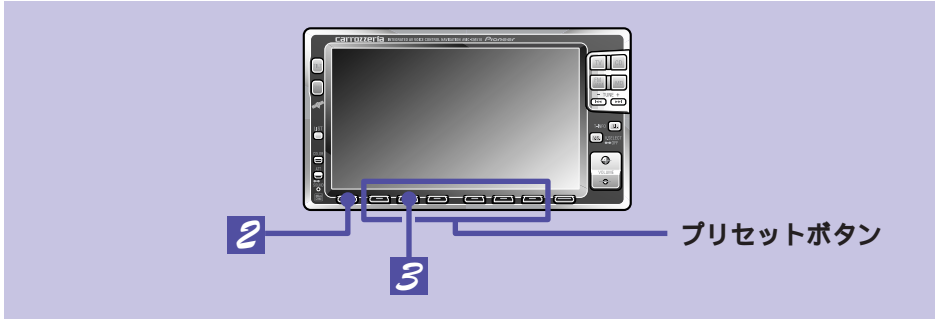
ナビゲーションの映像が表示されている場合、リストと動作状態は何も操作を行わないと約8秒間で消えます。

ナビゲーションの映像を表示中に放送局を切り換える場合、放送局の切り換わる速度が多少遅くなることがあります。放送局を切り換えるときは、音楽画面で行うことをおすすめします。

ラジオを聞く

複数の放送局を自動的に記憶させる

受信状態の良い放送局を探して、自動的にファンクションボタンに記憶させることができます。これをBSMといいます。BSMとは、Best Stations Memoryの略です。記憶できる放送局の数は、12局です。(放送局を記憶できるファンクションボタンをプリセットボタンと呼びます。)



1 FMかAMを選ぶ (☞ 26ページ)

2 ファンクションボタンの表示を切り換える

FUNCボタンを押して、ファンクションボタンの表示を機能名表示に切り換えます。



ボタンを押すごとに放送局と機能名の表示が切り換わります。



Pであることを確認してください。Pが表示されているとBSMは機能しません。(Pが表示されているときは☞ 76ページ)

メモ

PREボタンを押すごとにP(プリセットチューニング)とA(エアプリセットチューニング)が切り換わります。BSMを操作するときはP(プリセットチューニング)にしてください。(☞ 76ページ)

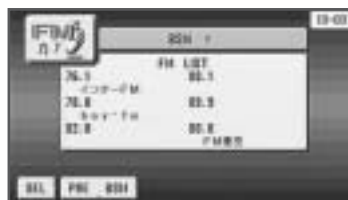
ナビゲーションの映像が表示されている場合、ファンクションボタンを押し、ファンクションボタンの表示をさせてから操作を行ってください。

3 BSMを始める

BSMを途中でやめるときは、もう一度BSMボタンを押します。



ボタンを2秒以上押すと、受信状態の良い放送局を自動的に記憶します。



記憶が終わると、プリセットボタン1に記憶した放送局を受信します。

メモ

プリセットボタンは6つあり、それぞれ2局まで記憶できます。

ファンクションボタンの表示を放送局にした場合、NEXTボタンを押すごとにファンクションボタンの表示が、次の放送局に切り換わり12局の中から選べます。

一度記憶したあとに再度BSMで記憶させたとき、受信状態の良い放送局が12局より少ない場合は、プリセットボタンに前の記憶内容が残ることがあります。

記憶させた放送局を呼び出すには (75ページ)

放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

プリセットボタンに、記憶させたい放送局を1局ずつ手で記憶させることができます。



3

NEXTボタン

1 FMかAMを選ぶ (☞ 26ページ)

2 記憶させたい放送局を選ぶ (☞ 71ページ)

3 記憶させる

記憶させたいプリセットボタンを2秒以上押します。
受信中の放送局が記憶されます。

Pであることを確認してください。■が表示されていると記憶させることはできません。
(■が表示されているときは
☞ 76ページ)



メモ

NEXTボタンで切り換えることにより、一つのプリセットボタンに、2局記憶できます。PREボタンを押すごとにP(プリセットチューニング)と■(エリアプリセットチューニング)が切り換わります。プリセットメモリーをするときはP(プリセットチューニング)にしてください。(☞ 76ページ)

ナビゲーションの映像が表示されている場合、ファンクションボタンを押し、ファンクションボタンの表示をさせてから操作を行ってください。

記憶させた放送局を呼び出すには
(☞ 次ページ)

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局を、簡単に呼び出して聞くことができます。



2

NEXTボタン

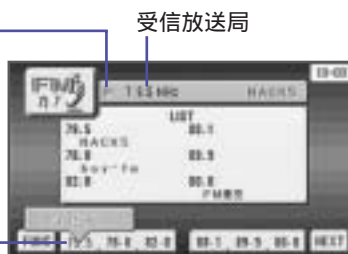
1 FMかAMを選ぶ (☞ 26ページ)

2 記憶させた放送局を選ぶ

プリセットボタンを押すと、そのボタンに記憶している放送局を受信します。

Pであることを確認してください。**■**が表示されているとプリセットチューニングすることはできません。
(**■**が表示されているときは
☞ 76ページ)

受信している放送局が赤色で表示されます。



メモ

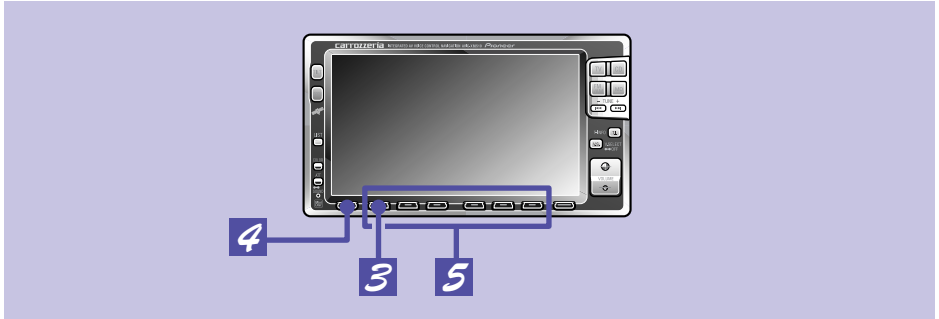
一つのプリセットボタンに2局記憶している場合は、NEXTボタンを押すと、ファンクションボタンの表示が次の局に切り換わります。

ナビゲーションの映像が表示されている場合、ファンクションボタンを押し、ファンクションボタンの表示をさせてから操作を行ってください。

PREボタンを押すごとに**P**(プリセットチューニング)と**■**(エリアプリセットチューニング)が切り換わります。プリセットチューニングするときは**P**(プリセットチューニング)にしてください。(☞ 76ページ)

地域の代表的な放送局を受信する

現在自分のいる地域の代表的な放送局を選ぶことができます。



1 FMかAMを選ぶ (☞ 26ページ)

2 ファンクションボタンの表示を切り換える (☞ 72ページ)

FUNCボタンを押して、ファンクションボタンの表示を機能名表示に切り換えます。

3 地域放送局表示に切り換える



ボタンを押すごとに
プリセットチューニング
とエリアプリセット
チューニングが切り
換わります。

エリアプリセットチューニング



メモ

ナビゲーション用地図ディスクをセットした直後または電源をONにした直後は、地域の放送局データを更新しているため、現在地でのエリアプリセットチューニングは多少時間がかかる場合があります。

4 ファンクションボタンの表示を放送局表示に切り換える



5 放送局を選ぶ

代表的な放送局を、プリセットボタンで選ぶことができます。



メモ

エリアプリセットとは、旅行や出張などの移動により、受信できる放送局が変わった場合でも、測位した現在地によって、自動的にその地域に合った放送局が表示されます。

ナビゲーションシステムが測位した現在地と、地域別の放送局のデータを元に、放送局が決定されます。(放送局のデータは、ナビゲーション用地図ディスクに収録されています。)

現在地によっては、リストやファンクションボタンの表示が「-」や何も表示しなくなることがあります。ナビゲーション用地図ディスクを再度セットし直すか、放送局名が表示される場所に移動してください。

表示される放送局でも、現在地の環境や電波の状況によっては、受信できない場合があります。

ナビゲーション用地図ディスクに収録されていない放送局は表示されません。

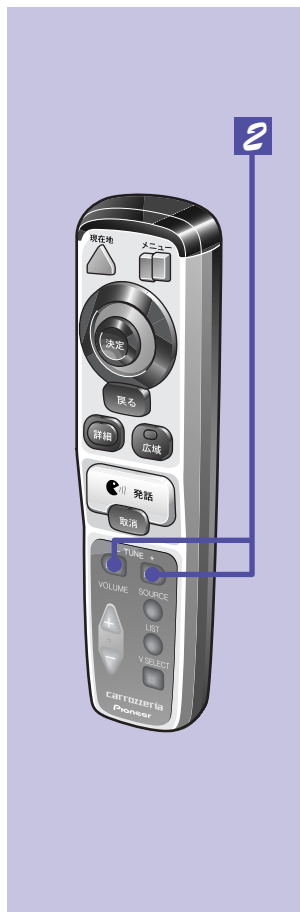
ナビゲーション用地図ディスクを取り出した場合、最後に測位した地域での放送局が表示されます。

地域の代表的な放送局が6局以上ある場合は、NEXTボタンを押すと、ファンクションボタンの表示が次の局に切り換わります。

ナビゲーションの映像が表示されている場合、ファンクションボタンを押し、ファンクションボタンの表示をさせてから操作を行ってください。

交通情報を受信する

AM 1,620kHzまたは1,629kHzの交通情報を、簡単に聞くことができます。



1 交通情報を受信する



ボタンを押すごとに交通情報のON/OFFが切り換わります。

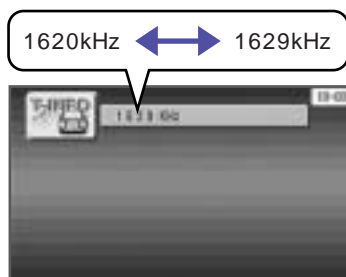


2 受信周波数を変更する

本体で操作するとき



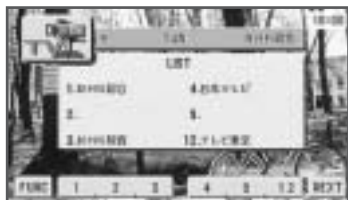
リモコンで操作するとき



ここで説明する操作だけで、テレビを見ることができます。

1 ソースをテレビにする (26ページ)

ナビゲーションの映像（地図が表示されている画面）のときにTVボタンを押すと、地図表示が消え、テレビの音声と映像に切り換わります。また、SOURCEボタンでテレビに切り換えた場合は、ナビゲーションの映像のまま音声のみテレビに切り換わります。



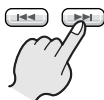
チャンネルを選ぶ

ここだけ読めば
すぐ使えます



2 見たいチャンネルを選ぶ

本体で操作するとき



リモコンで操作するとき



- ◀◀: 小さいチャンネルを選ぶ
- ▶▶: 大きいチャンネルを選ぶ



チャンネル 放送局名

選局方法の使い分け

手動選局 ……押しすぐに離す
(1ステップずつ)

自動選局 ……0.5秒から1.5秒の間
押し続ける

手動選局 (連続) ……1.5秒以上押し続ける

3 テレビの受信をやめる

ソースをOFFにする
(☞ 27ページ)

メモ

代表的な放送局名はすでに登録されています。その放送局名を変更したり、新規で登録する場合については『使い方辞典』をお読みにになり、放送局名を変更してください。

リストと動作状態は何も操作を行わないと約8秒間で消えます。

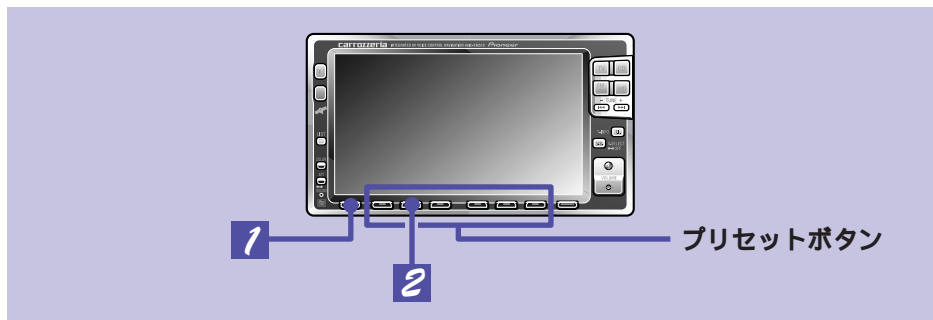
ナビゲーションの映像を表示中にチャンネルを切り換える場合、チャンネルの切り換わる速度が多少遅くなることがあります。チャンネルを切り換えるときは、音楽画面で行うことをおすすめします。

テレビを見る

複数のチャンネルを自動的に記憶させる

受信状態の良いチャンネルを探して、自動的にファンクションボタンに小さい順に記憶させることができます。これをBSSMといいます。BSSMとは、Best Stations Sequential Memoryの略です。

記憶できる放送局の数は、12局です。(放送局を記憶できるファンクションボタンをプリセットボタンと呼びます。)



1 ファンクションボタンの表示を切り換える


FUNCボタンを押して、ファンクションボタンの表示を機能名表示に切り換えます。




ボタンを押すごとにチャンネルと機能名の表示が切り換わります。



Fであることを確認してください。**■**が表示されているとBSSMは機能しません。

(**■**が表示されているときは  86ページ)

メモ

PREボタンを押すごとに**F**(プリセットチューニング)と**■**(エリアプリセットチューニング)が切り換わります。BSSMを操作するときは**F**(プリセットチューニング)にしてください。( 86ページ)

ファンクションボタンの表示が表示されていない場合、ファンクションボタンを押し、ファンクションボタンの表示をさせてから操作を行ってください。

2 BSSMを始める

BSSMを途中でやめるときは、もう一度BSSMボタンを押します。



ボタンを2秒以上押すと、受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶します。




記憶が終わると、プリセットボタン1に記憶したチャンネルを受信します。

メモ

プリセットボタンは6つあり、それぞれ2つのチャンネルまで記憶できます。

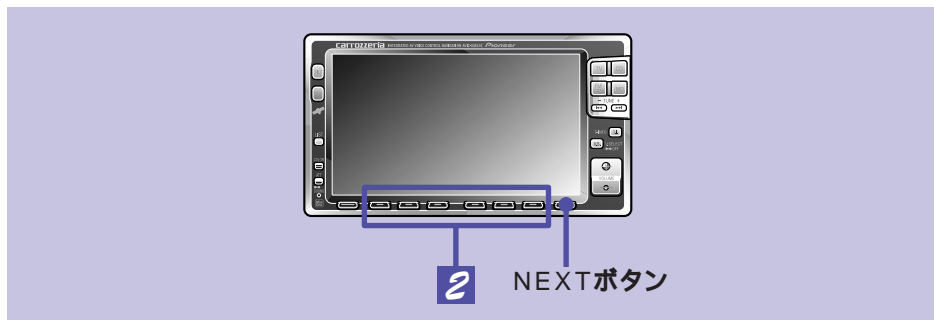
ファンクションボタンの表示をチャンネルにした場合、NEXTボタンを押すごとにファンクションボタンの表示が、次のチャンネルに切り換わり12局の中から選べます。

一度記憶したあとに再度BSSMで記憶させたとき、受信状態の良いチャンネルが12局より少ない場合は、プリセットボタンに前の記憶内容が残ることがあります。記憶させたチャンネルを見るには ( 85ページ)

チャンネルを1つずつ記憶させる

プリセットメモリー

プリセットボタンに、記憶させたいチャンネルを1つずつ手で記憶させることができます。



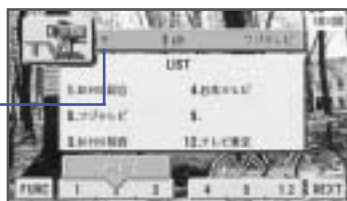
2 NEXTボタン

1 記憶させたいチャンネルを選ぶ (☞ 81ページ)

2 記憶させる

記憶させたいプリセットボタンを2秒以上押します。
受信中のチャンネルが記憶されます。

Pであることを確認してください。**A**が表示されていると記憶させることができません。
(**A**が表示されているときは ☞ 86ページ)



メモ

NEXTボタンで切り換えることにより、一つのプリセットボタンに、2つのチャンネルを記憶できます。

PREボタンを押すごとに**P**(プリセットチューニング)と**A**(エリアプリセットチューニング)が切り換わります。プリセットメモリーをするときは**P**(プリセットチューニング)にしてください。(☞ 86ページ)

ファンクションボタンの表示が表示されていない場合、ファンクションボタンを押し、ファンクションボタンの表示をさせてから操作を行ってください。

記憶させたチャンネルを見るには (☞ 次ページ)

記憶させたチャンネルを見る

プリセットチューニング

記憶させたチャンネルを、簡単に呼び出して見ることができます。



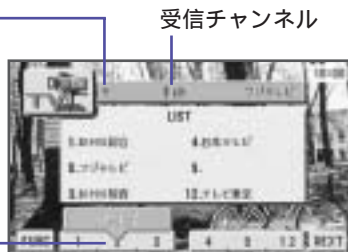
プリセットボタン NEXTボタン

見たいチャンネルを選ぶ

プリセットボタンを押すと、そのボタンに記憶しているチャンネルを受信します。

Pであることを確認してください。▲が表示されているとプリセットチューニングすることはできません。
(▲が表示されているときは 86ページ)

受信しているチャンネルが赤色で表示されます。



メモ

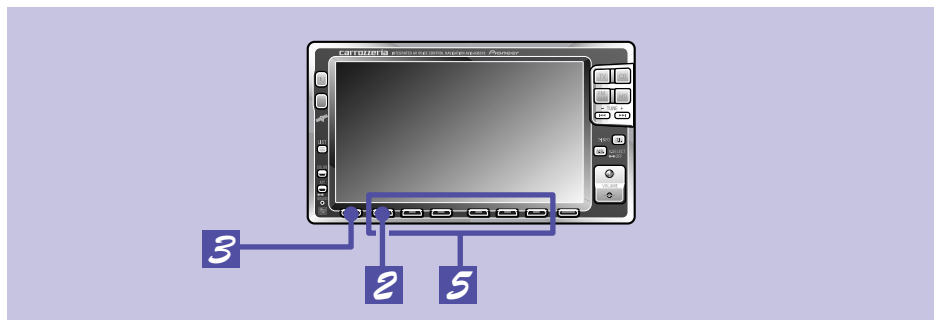
一つのプリセットボタンに2つのチャンネル記憶している場合は、NEXTボタンを押すと、ファンクションボタンの表示が次のチャンネルに切り換わります。

ファンクションボタンの表示が表示されていない場合、ファンクションボタンを押し、ファンクションボタンの表示をさせてから操作を行ってください。

PREボタンを押すごとにP(プリセットチューニング)と▲(エリアプリセットチューニング)が切り換わります。プリセットチューニングするときはP(プリセットチューニング)にしてください。(86ページ)

地域の代表的なチャンネルを受信する

現在自分がいる地域の代表的なチャンネルを選ぶことができます。



1 ファンクションボタンの表示を切り換える (☞ 82ページ)

FUNCボタンを押して、ファンクションボタンの表示を機能名表示に切り換えます。

2 地域チャンネル表示に切り換える



ボタンを押すごとに
プリセットチューニング
とエリアプリセット
チューニングが切り換
わります。

エリアプリセットチューニング



メモ

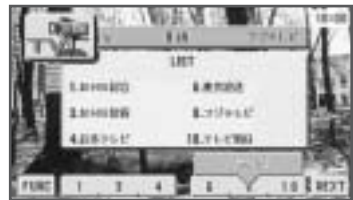
ナビゲーション用地図ディスクをセットした直後または電源をONにした直後は、地域のチャンネルデータを更新しているため、現在地でのエリアプリセットチューニングは多少時間がかかる場合があります。

3 ファンクションボタンの表示を放送局表示に切り換える



4 チャンネルを選ぶ

代表的なチャンネルを、プリセットボタンで選ぶことができます。



メモ

エリアプリセットとは、旅行や出張などの移動により、受信できるチャンネルが変わった場合でも、測位した現在地によって、自動的にその地域に合ったチャンネルが表示されます。

ナビゲーションシステムが測位した現在地と、地域別のテレビ局のデータを元に、チャンネルが決定されます。(テレビ局のデータは、ナビゲーション用地図ディスクに収録されています。)

現在地によっては、リストやファンクションボタンの表示が「-」や何も表示しなくなることがあります。ナビゲーション用地図ディスクを再度セットし直すか、チャンネル名が表示される場所に移動してください。

表示されるチャンネルでも、現在地の環境や電波の状況によっては、受信できない場合があります。

ナビゲーション用地図ディスクに収録されていないテレビ局は表示されません。

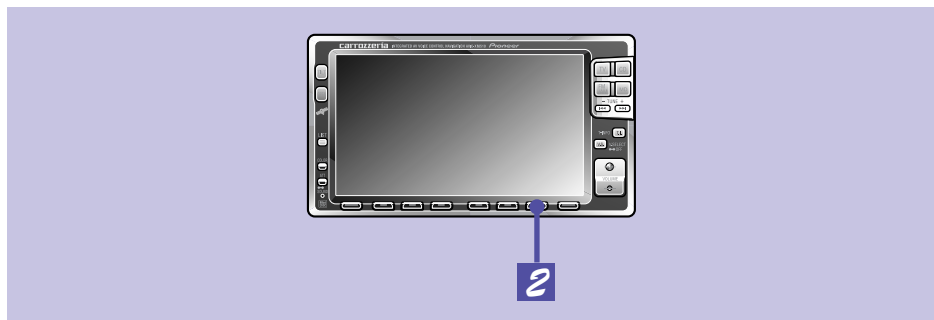
ナビゲーション用地図ディスクを取り出した場合、最後に測位した地域でのチャンネルが表示されます。

地域の代表的なチャンネルが6つ以上ある場合は、NEXTボタンを押すと、ファンクションボタンの表示が次のチャンネルに切り換わります。

ファンクションボタンの表示が表示されていない場合、ファンクションボタンを押し、ファンクションボタンの表示をさせてから操作を行ってください。

主音声と副音声を切り換える

音声多重放送の番組を見ているとき、その音声を切り換えることができます。



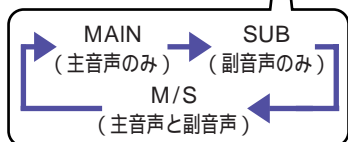
1 ファンクションボタンの表示を切り換える (☞ 82ページ)

FUNCボタンを押して、ファンクションボタンの表示を機能名表示に切り換えます。

2 音声を切り換える



押すごとに音声
切り換わります。



メモ

ファンクションボタンの表示が表示されていない場合、ファンクションボタンを押し、ファンクションボタンの表示をさせてから操作を行ってください。

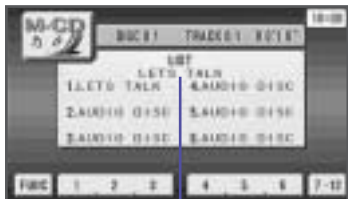
マルチCDの基本操作

CDを選ぶ

曲を選ぶ

ここで説明する操作だけで、別売のマルチCD（「CDX-P630S」など）にセットした音楽用CDを聞くことができます。

1 ソースをマルチCDにする (👉 26ページ)



再生中のCDにタイトルが登録されていると表示されます。

2 聞きたいCDを選ぶ (👉 92ページ)





3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

本体で操作するとき

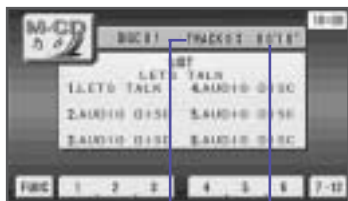


リモコンで操作するとき



◀◀: 前の曲を選ぶとき (または早戻し)

▶▶: 次の曲を選ぶとき (または早送り)



曲番号 再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択…押してすぐに離す
曲の早送り/早戻し…0.5秒以上押し続ける

4 マルチCDの再生を やめる

ソースをOFFにする

(☞ 27ページ)

メモ

CDタイトルの登録のしかたについては『使い方辞典』をお読みにになり、CDタイトルを登録してください。

CD TEXT対応マルチCD(「CDX-P1240TX」など)にCD TEXTをセットすると、CDタイトルが表示されます。

マルチCD内のCDの有無が判断できないときは、リストに「- - - -」、無いと判断したときは何も表示されません。

ナビゲーションの映像が表示されている場合、リストと動作状態は何も操作を行わないと約8秒間で消えます。

聞きたいCDを選ぶ (6/12枚連奏マルチCD)

ダイレクトサーチ

6連奏/12連奏マルチCDを使っているとき、セットしたCDから、聞きたいCDをワンタッチで選ぶことができます。(CDを選択するときを使うファンクションボタンをCD選択ボタンと呼びます。)

チェック 6連奏/12連奏マルチCDの機能です。



CD選択ボタン 1-6ボタン/7-12ボタン

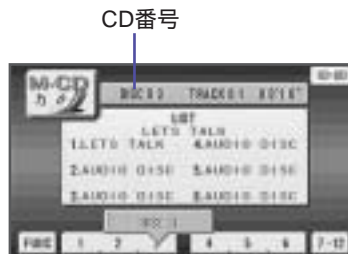
聞きたいCDを選ぶ

1～6枚目を選ぶ

聞きたいCDの番号が表示されているCD選択ボタンを押します。
7～12枚目のCD番号が表示されていたら、1-6ボタンを押します。

7～12枚目を選ぶ

7-12ボタンを押してCD選択ボタンの表示を7～12にしてから、聞きたいCDの番号が表示されているCD選択ボタンを押します。



メモ

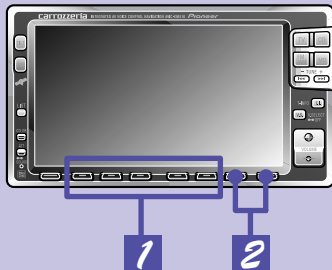
ナビゲーションの映像が表示されている場合、ファンクションボタンを押し、ファンクションボタンの表示をさせてから操作を行ってください。

聞きたいICDを選ぶ (50枚連奏マルチCD)

ラフサーチ

50連奏マルチCDを使っているとき、セットしたCDから、聞きたいICDを10枚目から19枚目、20枚目から29枚目、というように、10枚単位で選ぶことができます。

チェック 50連奏マルチCDの機能です。



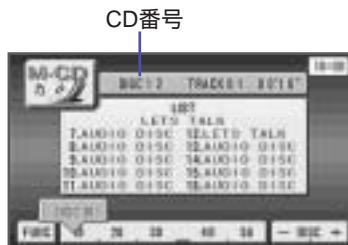
1 聞きたいICDをおおまかに選ぶ

聞きたいICDの近くのファンクションボタンを押します。1～9枚目を選ぶときは、手順2の操作でCDを選びます。

ボタンの使い分け

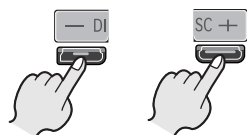
10～19枚目を選ぶ	10ボタン
20～29枚目を選ぶ	20ボタン
30～39枚目を選ぶ	30ボタン
40～49枚目を選ぶ	40ボタン
50枚目、EX を選ぶ	50ボタン

EXとは、エキストラトレイのことを表しています。



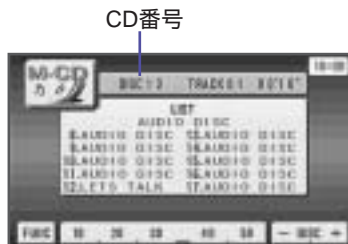
マルチCDでCDを聞く

2 聞きたいICDを選ぶ



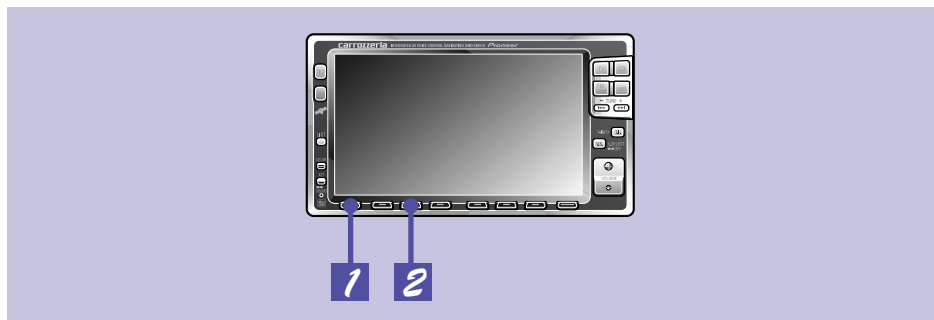
前のCDを選ぶとき

次のCDを選ぶとき



同じ曲やCDを繰り返し聞く

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し聞く範囲を選べます。



1 ファンクションボタンの表示を切り換える

FUNCボタンを押して、ファンクションボタンの表示を機能名表示に切り換えます。



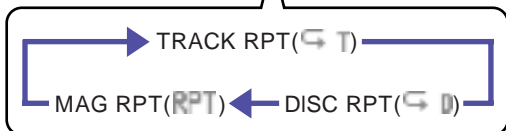
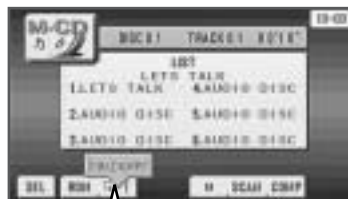
ボタンを押すごとにCD番号と機能名の表示が切り換わります。



2 再生範囲を切り換える



ボタンを押すごとに再生範囲が切り換わります。



再生範囲の内容

TRACK RPT	再生中の曲を、繰り返し再生します。
DISC RPT	再生中のCDを、繰り返し再生します。
MAG RPT	マルチCDにセットされている、すべてのCDを通して再生します(通常はこのモードにしておきます)。

メモ

ナビゲーションの映像が表示されている場合、ファンクションボタンを押し、ファンクションボタンの表示をさせてから操作を行ってください。

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順でランダムに再生することができます。



2

1 再生範囲を選ぶ (☞ 94ページ)

選んだ再生範囲でランダム再生が行われます。

2 ランダム再生を始める



ボタンを押すごとにランダム再生のON/OFFが切り換わります。



ONのとき赤色で表示されます。

メモ

ナビゲーションの映像が表示されている場合、ファンクションボタンを押し、ファンクションボタンの表示をさせてから操作を行ってください。

曲の最初だけを次々に聞く

スキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの1曲目の始めを部分だけを次々に聞くことができます。



2

1 再生範囲を選ぶ (☞ 94ページ)

聞きたい曲をさがすとき

再生範囲をディスクリPEATに切り換えます。再生中のCDの全曲を約10秒ずつ再生できます。

聞きたいCDをさがすとき

再生範囲をマガジンリPEATに切り換えます。マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

2 スキャン再生を始める



ボタンを押すごとに
スキャン再生の
ON/OFFが切り換わ
ります。



ONのとき赤色で表示されます。

メモ

ナビゲーションの映像が表示されている場合、ファンクションボタンを押し、ファンクションボタンの表示をさせてから操作を行ってください。

スキャン再生は始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は自動的に解除されます。

CDの音質を調整する

コンプレッション

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりするときに調整します。

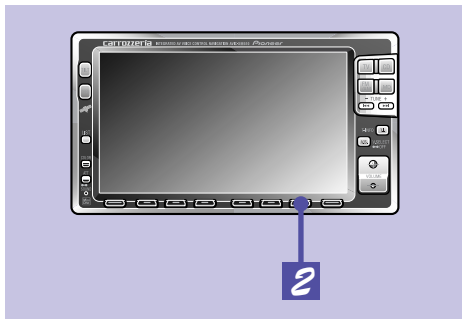
チェック コンプレッション機能の付いたマルチCD(「CDX-P620S」など)で操作できます。

DCとは

Digital Compression (デジタル コンプレッション) の略です。この機能は、大きな音を押さえ、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくするものです。小さな音が聞き取りにくいときにお使いになると便利です。

DBEとは

Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス) の略です。この機能は、車内で不足がちな低音を押し上げます。



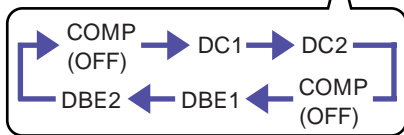
1 ファンクションボタンの表示を切り換える (👉 94ページ)

FUNCボタンを押して、ファンクションボタンの表示を機能名表示に切り換えます。

2 機能を選ぶ



ボタンを押すごとにコンプレッションが切り換わります。



メモ

DCもDBEも2段階に切り換えられますが、1より2のほうが、より効果があります。コンプレッション機能の付いていないマルチCDでは、コンプレッションの項目は表示されません。

ナビゲーションの映像が表示されている場合、ファンクションボタンを押し、ファンクションボタンの表示をさせてから操作を行ってください。

CD再生を一時停止する

ポーズ

CDの再生中に、一時停止することができます。



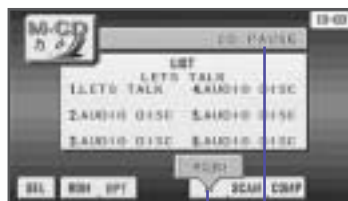
1 ファンクションボタンの表示を切り換える (☞ 94ページ)

FUNCボタンを押して、ファンクションボタンの表示を機能名表示に切り換えます。

2 CD再生を一時停止する



ボタンを押すと一時停止します。もう一度押すと演奏が再開します。



一時停止中に赤色で表示されます。

一時停止中に表示されます。

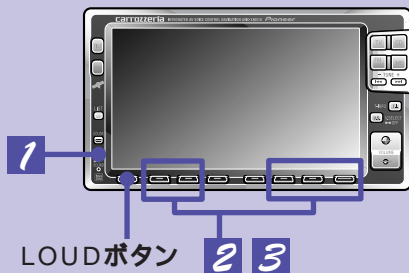
メモ

ナビゲーションの映像が表示されている場合、ファンクションボタンを押して、ファンクションボタンの表示をさせてから操作を行ってください。

音を調整する

スピーカーからの音を好みに合わせて調整することができます。

チェック 音を調整するために、MDやCDなどを再生します。



1 音質調整画面を表示させる



ボタンを2秒以上
押すごとに音質調
整画面がON/OFF
します。



バランスの調整では

左スピーカーまたは右スピーカーの音量を調整します。

フェーダーの調整では

前スピーカーまたは後ろスピーカーの音量を調整します。

バスの調整では

低音をより強く、またはより弱くします。

トレブルの調整では

高音をより強く、またはより弱くします。

ラウドネスをONにすると

音量を小さくすると聞き取りにくくなる高音域と低音域が強調されます。小さな音量にしてもメリハリのある音になります。

メモ

音質調整画面を表示しているときは音声操作はできません。

2 調整する項目を表示させる

「バランス」「フェーダー」を調整する画面



「パス」「トレブル」「ラウドネス」を調整する画面



NEXTボタンを押して、希望の調整項目が含まれる画面に切り換えてください。

3 調整する

例：左右のスピーカーの音量
バランスを調整する場合



「◀BALANCE」ボタンまたは「BALANCE▶」ボタンを押して調整します。

項目と調節範囲	◀/▼側	▶/▲側
バランス (左9~右9)	左が強くなる	右が強くなる
フェーダー (前15~後15)	後ろが強くなる	前が強くなる
バス (-6~+6)	低音が弱くなる	低音が強くなる
トレブル (-6~+6)	高音が弱くなる	高音が強くなる
ラウドネス	LOUDボタンを押すごとにラウドネスがON/OFFします	

例：右スピーカーを強めると

ガイドラインが
右に移動



調整内容が表示されます。

外部機器の音声を聞く

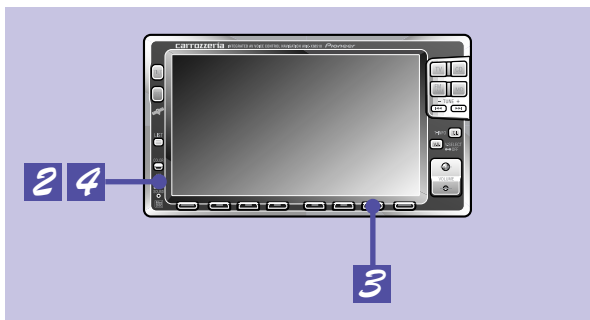
AUX (外部音声)

本機にDATなどの外部機器を接続して、その音声を聞くことができます。

外部機器を接続するには

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATなどを外部機器として本機に接続することができます。

詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。



1 音楽をOFFにする (☞ 27ページ)

2 初期設定画面を表示させる



2秒以上押しごとに初期設定画面がON/OFFします。



3 「外部音声入力」を「設定あり」にする



ボタンを押すごとにあり/なしが切り換わります。



4 初期設定画面を消す



ソースをAUX (外部音声) に切り換えると (☞ 26ページ) 外部機器の音声が聞けます。

ビデオの映像を見る

VTR (外部映像/音声)

本機にビデオなどのVTR機器を接続すると、その映像を見ることができます。



3

1 音楽をOFFにする (☞ 27ページ)

2 初期設定画面を表示させる (☞ 102ページ)

3 「外部映像/音声入力」を「設定あり」にする



ボタンを押すごとにあり/なしが切り換わります。



その他の機能と付録

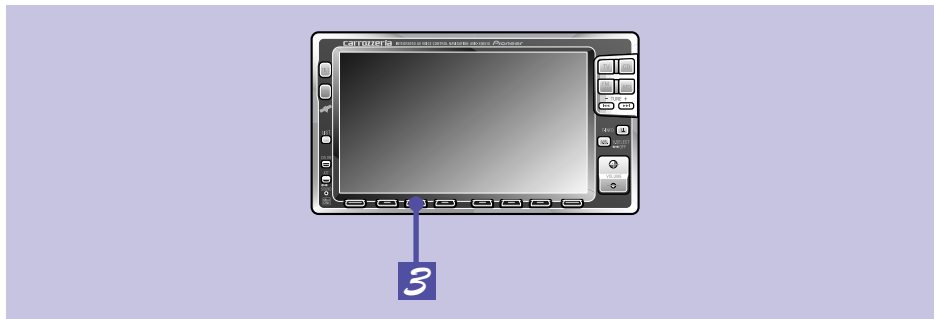
4 初期設定画面を消す (☞ 102ページ)

ソースをビデオ (VTR) に切り換えると (☞ 26ページ) ビデオの映像/音声が見れます。

TVアンテナの設定をする

TVアンテナの設定

本体の4つのTVアンテナ接続端子のうち、実際にTVアンテナを接続した数と同じ数を設定します。



1 音楽をOFFにする (☞ 27ページ)

2 初期設定画面を表示させる (☞ 102ページ)

3 「TVアンテナダイバー」の設定を
接続したTVアンテナの数に合わせる



ボタンを押すごとに4ch/3chが切り換わります。

設定のしかた

1～4のすべての端子に接続	4ch
1～3の端子に接続	3ch



4 初期設定画面を消す (☞ 102ページ)

本機を初期状態に戻す

リセット

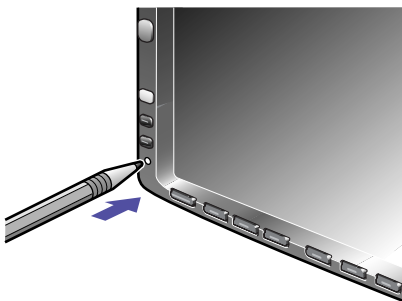
本機を初期状態に戻すことができます。



リセットボタン

本機をリセットする

ボールペンの先などでリセットボタンを押す。



マイコンが初期状態に戻ります。

リセットについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態（ご購入直後の状態）に戻ります。
次のようなときにリセットボタンを押してください。

接続が終わったあと

本機が正しく動作しないとき

モニターに画像が正しく表示されないとき

リセットボタンを押すと、本機の記憶（ラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度セットしなおしてください。

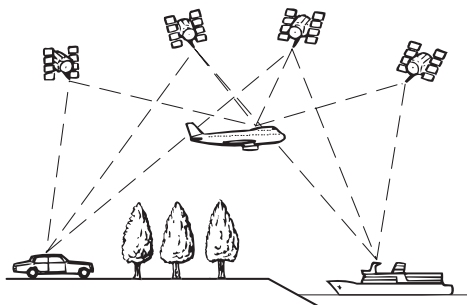
現在地がわかる仕組み

本機では、現在地を測位するために、「GPS」のほかに「自律航法」という方法を採用しています。

「GPS」による測位について

GPSとは？

GPS衛星(人工衛星)から位置測定用の電波を受信して現在地を測位するシステムです。GPS衛星は、地球の周り高度21,000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。



GPSによる測位の種類

GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位があります。

3次元測位

GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できます。

2次元測位

GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位します。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなります。

メモ

GPSは、Global Positioning System (グローバルポジショニングシステム)の略です。

「自律航法」による測位について

自律航法とは？

一度GPSにより現在地を測位しておき、あとは内蔵のジャイロセンサーで車の動きを調べて現在地を追いかけていく測位方法です。

ジャイロセンサーでは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーでそれぞれ検出して、現在地を割り出しています。

車速パルスが取れない場合は

車速パルスがとれない外国車やディーゼル車などは、車速パルス発生器「ND-PG1」(別売)を組み合わせることで、ジャイロセンサーに車速パルスのデータを供給することができます。(車種によっては、「ND-PG1」が取り付けられない場合があります。)

GPSと自律航法を組み合わせると

GPSによる現在地のデータと、自律航法による現在地のデータを常に組み合わせますので、より精度の高い測位ができます。

GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自律航法により測位を続けることができます。

自律航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくる場合があります。GPSと自律航法を組み合わせると、GPS測位により自律航法のずれを修正することができるため測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるために

ジャイロセンサーの機能について

自律航法自体の測位精度を高めるために、内蔵のジャイロセンサーには、次のような機能があります。

誤差の学習や補正を行います

ジャイロセンサーは、自分で計算した現在地とGPS測位による現在地を常に比較し、発生した誤差を学習しています。


学習内容に応じて、タイヤの磨耗などによって生じる走行距離の誤差や、車の傾きかた（ロールのしかた）によって生じる曲がった方向の誤差を補正しています。走行を重ねるにつれて学習内容が増えますので、徐々に測位の精度が高くなっていきます。

誤差が大きいときは自動的に学習を中断します

チェーンを装着したり、応急用タイヤで走行すると、タイヤの外周が変わるため誤差が大きくなります。この大きな誤差を学習すると、学習内容が悪くなってしまうため、大きな誤差が発生したときは学習を一時的に中断します。

2種類のタイヤを別々に学習できます

夏用タイヤと冬用タイヤなど、サイズの違う2種類のタイヤを、それぞれ別々に学習・補正することができます。

(詳しくは  『使い方辞典』)

学習・補正効果を高めるために

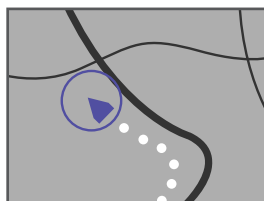
GPS衛星の電波が受信できないときは、学習や補正は行われません。このため、GPSによる測位時間が短い間は、自車マークと実際の現在地が大きくずれることがあります。GPS受信状態で2時間程度走行すると、かなり精度が高くなります。

「マップマッチング」について

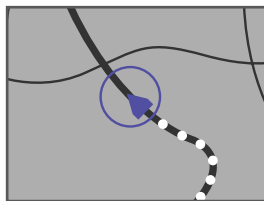
マップマッチングとは？

GPSや自律航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外（例えば川の中）になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしていないとき



マップマッチングしているとき



本機では、GPSと自律航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能です。

GPS測位の精度を高めるために

別売のVICS/D-GPS/FM多重チューナー「ND-F3」を組み合わせると、GPS測位の精度を高めるディファレンシャルGPSを利用できます。

「ディファレンシャルGPS (D-GPS)」について



ディファレンシャルGPS (D-GPS) とは？

GPS衛星は米国国防総省の管理下にあるため、衛星からの電波には軍事的理由によりあらかじめ誤差が含まれています。その誤差は刻々と変化しており、GPS衛星からの電波だけで測位している場合には、この誤差により、測位精度が低下します。

そこで、GPS衛星からの電波を日本各地の施設で受信し、その施設の位置とGPS衛星からの位置情報を比較し、誤差を確認してその情報をFM多重電波で放送するしくみがディファレンシャルGPS (D-GPS) システムです。

VICS/D-GPS/FM多重チューナー「ND-F3」(別売)でD-GPSの情報を受信します

FM多重チューナー「ND-F3」で、5秒ごとに更新されるD-GPSの情報を受信します。

D-GPSの情報は、その都度GPS測位に反映されます。このシステムは全国サービスで行われるので、エリア内ならどこでも高精度な測位が実現できます。


情報は全国JFN系列他の放送局から発信されています

D-GPSの情報は、全国のJFN系列のFM放送局他からFM多重電波を通じて放送されています。

D-GPS情報放送局 (1998年5月現在)
FM北海道、FM青森、FM岩手、FM仙台、FM秋田、FM山形、ふくしまFM、FMぐんま、FM栃木、TOKYO FM、FM新潟、FM長野、静岡FM放送、FMとやま、FM石川、FM福井、FM AICHI、FM三重、FM滋賀、fm osaka、kiss-FM KOBE、FM山陰、広島FM放送、FM山口、FM香川、FM愛媛、FM徳島、FM高知、FM佐賀、FM福岡、FM長崎、FM中九州、FM大分、FM宮崎、MF鹿児島、FM沖縄 (全国36局)

メモ

一部地域については、カバーされていない場合があります。

FM多重チューナー「ND-F3」は、VICS用として使用するか、D-GPS用として使用するかどうかを選択できます。(初期設定ではVICS用に設定されています。D-GPS用にするには「 『使い方辞典』」)

FM放送局が休止している時間帯はD-GPSはできません。

誤差について

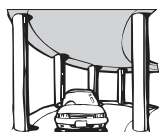
GPSや自律航法、マップマッチングの組み合わせにより、誤差をより小さくすることができますが、状況によってはこれらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなる場合があります。

GPSによる測位ができない場合があります

2つ以下のGPS衛星の電波しか受信できないときは、GPSによる測位ができません。次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられ、受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群衆地帯



密集した樹木の間

次のようなときは、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。

* 内蔵のテレビで56チャンネル（UHF）を受信しているとき。

* GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っているとき。

GPSアンテナに関するご注意

GPSアンテナにベンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、雪がつもると感度が低下しますので取り除いてください。



GPS衛星自体による誤差について

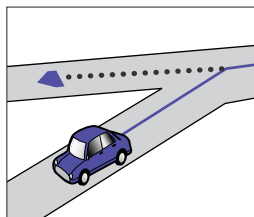
GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

3次元測位のときは、約30m ~ 200 mの誤差で自車の現在地を測位します。2次元測位のときは、3次元測位のときよりも誤差がやや大きくなります。

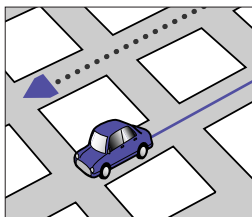
誤差について(つづき)

誤差が大きくなる走行状態

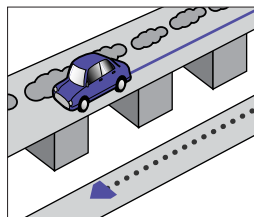
角度の小さなY字路を
走ったとき。



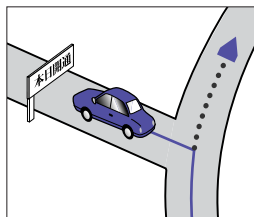
碁盤の目状の道路を
走ったとき。



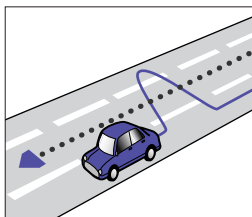
道路が近接しているとき
(高速道路と側道など)



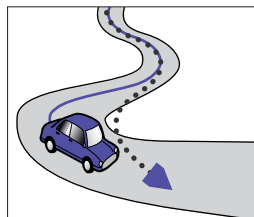
地図情報にはない新設
道路を走ったとき。



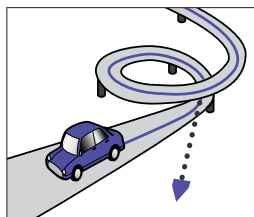
蛇行運転をしたとき。



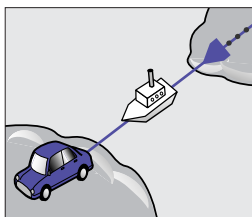
ヘアピンカーブが続いた
とき。



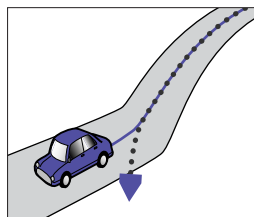
ループ橋などを通った
とき。



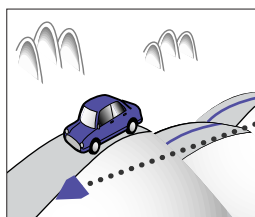
フェリーや車両運搬車
などで移動したとき。



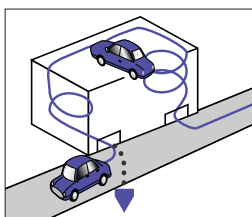
直線や緩やかなカーブ
を長距離走ったすぐ後。



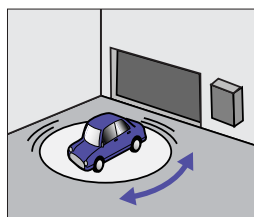
勾配の急な山道など、高低差のある道を走ったとき。



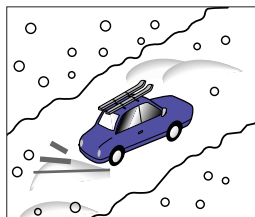
立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返したとき。



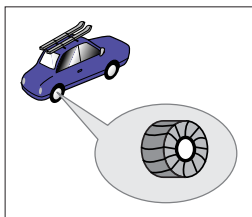
駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行ったとき。



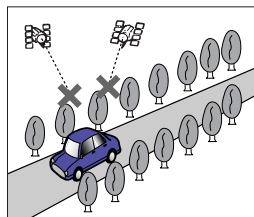
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップしたとき。



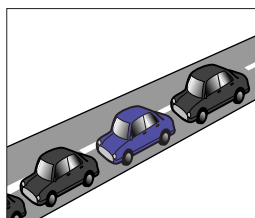
チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換したとき。




GPSによる測位ができない状態が長く続いたとき。



渋滞などで低速で発進や停止を繰り返したとき。



メモ

内蔵のジャイロセンサーはサイズの違う2種類のタイヤをそれぞれ別々に学習・補正できます。この機能により、チェーンを装着したり冬用タイヤに交換したときの誤差をより小さくできます。(詳しくは「 使い方辞典」)

VICSについて

別売のVICS/D-GPS/FM多重チューナー「ND-F3」や、VICS用ビーコン受信機「ND-B1」または「ND-B2」を組み合わせると、VICSを利用できます。

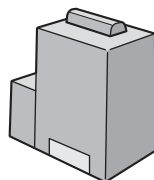
VICSとは

最新の交通情報を車のドライバーに伝えるための通信システムです。1996年春、首都圏からサービスが開始されました。VICS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見えることもできます。VICSには、“渋滞の手前で空いている道に入り、快適にドライブする”といった利用のしかたがあります。

VICS情報の提供方法

道路・交通に関するさまざまな情報は、一度VICSセンターに集められます。その後、次の3つの方法で、最新の道路交通情報（VICS情報）が提供されます。

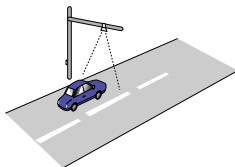
VICSセンター



電波ビーコン（主に高速道路） 光ビーコン（主に一般道）

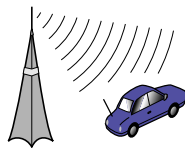


電波を使ったビーコンで情報が提供されます。



赤外線を使ったビーコンで情報が提供されます。

FM多重放送



FM多重放送の電波で情報が提供されます。広い地域をカバーできます。

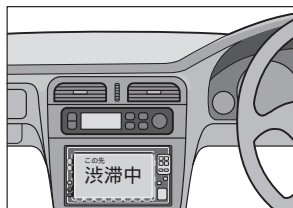
ビーコンは、道路脇に一定間隔で設置された、VICSの情報を送信する装置です。設置された場所周辺の交通情報がここから送信されます。VICS用ビーコン受信機「ND-B1」または「ND-B2」で、ビーコンによるVICS情報を受信できます。（「ND-B1」または「ND-B2」を接続するには、VICS/D-GPS/FM多重チューナー「ND-F3」が必要です。）

VICS/D-GPS/FM多重チューナー「ND-F3」で、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

メモ

VICSは、Vehicle Information & Communication System（ビークル・インフォメーション・アンド・コミュニケーション・システム）の略です。

VICS情報の表示形態



VICS情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があり、ドライバーはVICSによりリアルタイムで提供される道路交通情報を活用することができます。

VICS情報の内容

渋滞情報	旅行時間情報
交通障害情報	交通規制情報
駐車場情報	

レベル3：地図



ナビゲーションの地図上に、直接、道路交通情報を表示します。

レベル2：簡易図形



簡単な地図とイラストなどで、道路交通情報を表示します。

レベル1：文字



文字により道路交通情報を表示します。

本機でVICS情報を見るには

本機では、VICS/D-GPS/FM多重チューナー「ND-F3」(別売)で受信したVICS情報をナビゲーションの地図上に表示します。さらに、VICS用ビーコン受信機「ND-B1」「ND-B2」を組み合わせると、ビーコンによるVICS情報も表示できます。

表示例(レベル3：地図)



フロントパネル・モニターの正しい使いかた

モニターのご注意

温度が - 10度以下または + 50度以上になるところでは、お使いにならないでください。

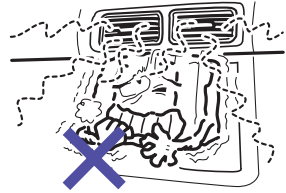
直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、モニターの液晶画面が故障する恐れがあります。できる限りモニターに直射日光が当たらないようにしてください。



フロントパネルの上に物を置いたり、フロントパネルの開け/閉めを手動で行ったりしないでください。フロントパネルに強い力が加わると故障することがあります。



エアコンの吹き出し口の近くに来る場合は、エアコンの風がモニターに当たらないようにしてください。ヒーターの熱で液晶が壊れたり、クーラーの冷気でモニター内部に水滴がついて故障する恐れがあります。



フロントパネルを開け/閉めするとき、物をはさまないように注意してください。物をはさまると、フロントパネルが動かなくなることがあります。フロントパネルが途中で止まった場合は、はさまった物を取り除いてから、もう一度操作してください。



モニターの液晶画面について

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

モニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますの

モニターの小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、モニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は消耗品で寿命があります。

蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになりますと、寿命が短くなることがあります。

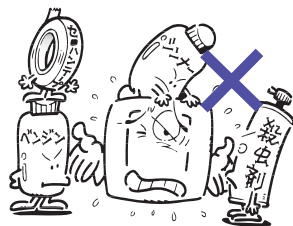
蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店に、蛍光管の交換を依頼してください。

モニターのお手入れについて

画面に付いたホコリやモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。

画面をふくときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



ディスクの正しい使いかた

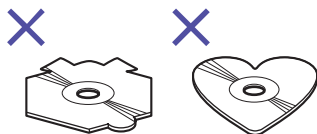
使用できるディスクについて

本機では地図ディスクなどの専用CD-ROM (10ページ) および音楽用CDが使用できます。

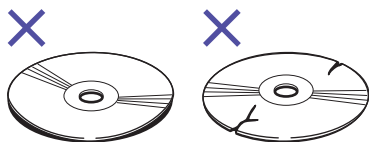
他社のCD-ROMは使用できません。
音楽用CDを聞くときは、下記のマークの付いている音楽用CDをお使いください。



特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。



ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。

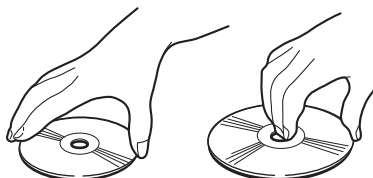


メモ

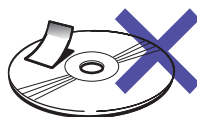
製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

取り扱い上のご注意

ディスクは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

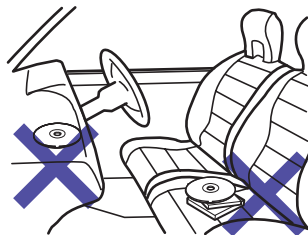


ディスクにキズを付けないでください。ディスクシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

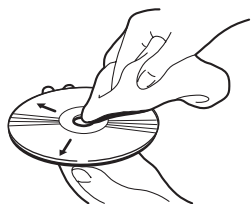
ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ軽くふいてください。



ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



当社では、ディスク用のクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

ディスク再生の環境について

走行中、振動のショックでディスクのデータが正確に読み取れないことがあります。

* 地図ディスクなどの専用CD-ROM再生中は、画面の切り換えが遅くなったりすることがあります。

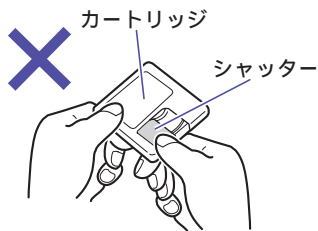
* 音楽用CD再生中は、音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのをお待ちください。ディスクに付いたつゆは、柔らかい布でふいてください。

MDの正しい使いかた

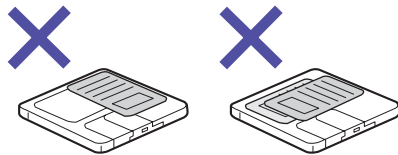
取り扱い上のご注意

MDのシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれることがあります。

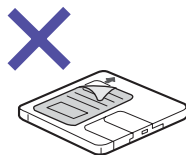


ラベルについて

MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。

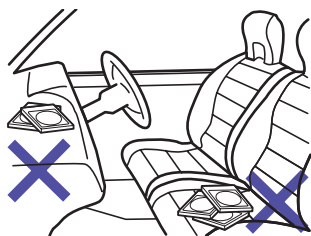


ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかけたり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



保管上のご注意

MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



MD再生の環境について

寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは1時間ほど放置して自然につゆがとれるのを待ち下さい。MDのカートリッジ表面についたつゆは柔らかい布でふいてください。

お手入れについて

MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽くふいてください。


MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



こんなメッセージが表示されたら

音楽用CDやMDが正常に再生できないときは、モニターにエラーメッセージが表示されます。

CDのエラー表示


メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「ERROR11」「ERROR12」 「ERROR17」「ERROR30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 ( 117ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にセットしたとき	ディスクのタイトル面を上にして、セットしてください。
「ERROR14」	追記型CD(CD-R)を録音しないまま使用しているとき。	追記型CD(CD-R)は、録音してからお使いください。
「ERROR10」「ERROR11」 「ERROR12」「ERROR14」 「ERROR17」「ERROR30」 「ERROR A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「HEAT」	本機の内部温度が高くなったとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「NO DISC」	マルチCDのマガジンにCDが入っていないとき。	マルチCDのマガジンにCDをセットしてください。
「NO MAG」	マルチCD再生中に、マルチCDからマガジンを取り出したとき。	マルチCDにマガジンを設定すると、再びマルチCDの再生が始まります。

メモ

マルチCDやマルチMD再生中に、上記以外のエラー番号が表示されたときは、各製品の取扱説明書をご覧ください。

ナビゲーション用地図ディスクのナビゲーションのメッセージは『使い方辞典』をご覧ください。

MDのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示される時	処 置
「ERROR11」「ERROR12」 「ERROR17」「ERROR30」	MDが汚れているとき。	MDの汚れをふき取ってください。 ( 119ページ)
	MDにキズやひびがあるとき。	MDを交換してください。
「ERROR20」「ERROR21」	振動などが原因で曲の情報を 読みとれなかったとき。	MDを取り出し、もう一度入れ直 してください。それでも同じメ ッセージが表示される場合は、他 のMDと交換してください。
	MDに異常(損傷している、 TOCが入っていないなど)があ るとき。	
「ERROR22」「ERROR24」	MDに異常(損傷している、 TOCが入っていないなど)があ るとき。	他のMDと交換して下さい。
「ERROR23」	音楽以外の情報が記録された MDを使用したとき。	音楽が録音されたMDを使用し てください。
「ERROR01」「ERROR11」 「ERROR12」「ERROR17」 「ERROR30」「ERROR A0」	電気系、機構系の故障が考え られるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFF にしてからONにするか、CD再 生を一度やめてから、もう一度 CD再生にしてください。
「HEAT」	本機の内部温度が高くなった とき。	内部温度が下がるまでお待ちく ださい。

故障かな?と思ったら

故障かな?
と思ったら

修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

チェックしても
なおらないときは

本機をリセットしてく
ださい。(☞ 105ページ)

それでも
なおらないときは

「保証書発行兼お客様登
録カードとアフターサー
ビス」(☞ 124ページ)
をお読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 『取付説明書』)
音が出ない。音が小 さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。(☞ 28ページ)
前または後ろのスピー カーの音が出ない。音 が小さい。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	前後の音量バランスを調節してください。 (☞ 100ページ)
左または右のスピー カーの音が出ない。 音が小さい。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	左右の音量バランスを調節してください。 (☞ 100ページ)

CD

症 状	原 因	処 置
CDの再生中、大きな 雑音が出る。 CDの再生が途中で止 まる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなれ ばCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。(☞ 117ページ)
	CDにくもりや水滴が付い ている。	CDのくもりや水滴をふき取ってください。 (☞ 117ページ)
	CDの裏表を逆にしてセッ トしている。	CDのタイトル面を上にしてセットして ください。(☞ 18ページ)

MD

症 状	原 因	処 置
MDの再生中、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDにくもりや水滴が付いている。	
	購入したばかり、または全曲を消去した録音用MDを挿入した。	
	MDが正しい方向に挿入されていない。	MDを取り出し、正しい方向に挿入してください。(70 20ページ)

ラジオ/テレビ

症 状	原 因	処 置
ラジオまたはテレビの受信が、「ジージー、ザーザー」という雑音が多い。	放送局の周波数やチャンネルが合っていない。	周波数やチャンネルを正しく合わせてください。(71、81ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。(71、81ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。(71、81ページ)

保証書発行兼お客様登録カードとアフ

保証書発行兼お客様登録カード

保証書発行兼お客様登録カードは、お買上げ年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

この製品は、より確実にお客様をサポートさせていただくために「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送による、お客様の登録と保証書の発行を実施させていただいております。お手数ですが、住所、お名前、電話番号および必要事項をご記入のうえ、保証書発行兼お客様登録カードを必ず弊社までご返送くださるようお願いいたします。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に記入してください。お客様登録手続き完了後、保証書を郵送にてお届けいたします。（ご返送いただけない場合はお客様の登録ができないため保証書の発行ができません。）

送られてきた保証書は記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

なお、保証書発行兼お客様登録カードお客様控は、お客様登録手続き中の証明となるものですので、保証書をお届けするまでの間、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、右ページの当社無料修理規定に基づき修理いたします。お買上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機、または保証書発行兼お客様登録カードに関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターにお問い合わせください。

お願い

より確実にお客様をサポートさせていただくために、ご転居、住所の変更等、ご登録内容に変更が生じましたら、お手数ですがパイオニアお客様相談センターへご連絡くださるようお願いいたします。

お客様相談センター：☎0070-800-818111

無料修理規定

- 1.保証期間はお買上げ日より1年間です。
- 2.本取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買上げの販売店またはパイオニアサービスステーションが無料修理いたします。
- 3.保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」のパイオニアサービスステーションにご依頼ください。
- 4.ご購入、ご贈答品等で保証書または保証書発行兼お客様登録カードに記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧くださいのうえ、お近くのパイオニアサービスステーションへご相談ください。
- 5.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障および損傷。
 - 業務用の長時間使用、船舶への搭載等、通常以外のご使用をされた場合の故障および損傷。
 - 消耗品（各部ゴム、電池等）の交換
 - 未登録のお客様で保証書発行兼お客様登録カードのご提示がない場合。
 - 保証書の文字を書きかえられた場合。
 - 保証書発行兼お客様登録カードにお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合。
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
- 6.保証書およびこの無料修理規定は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan
- 7.保証書および保証書発行兼お客様登録カードは再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
 - *保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって保証書およびこの無料修理規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買上げの販売店またはパイオニアお客様相談センターにお問合わせください。
 - *また、保証期間中に保証書を紛失した場合でもご登録いただいておりますと、確認に多少お時間をいただく場合がございますが、当社無料修理規定に基づき修理いたします。

おもな仕様

CDプレーヤー部

形式	: コンパクトディスクオーディオシステム
使用ディスク	: コンパクトディスク
信号	
フォーマット	: サンプリング周波数: 44.1 kHz 量子化ビット数: 16ビット直線
周波数特性	: 20 ~ 20,000 Hz (±1 dB)
S/N	: 90 dB (1 kHz) (IHF-Aネットワーク)
ダイナミックレンジ	: 90 dB (1 kHz)
チャンネル数	: 2 (ステレオ)

MDプレーヤー部

形式	: ミニディスクデジタルオーディオシステム
使用ディスク	: ミニディスク
信号フォーマット	: サンプリング周波数: 44.1 kHz 量子化ビット数: 16ビット直線
周波数特性	: 20 ~ 20,000 Hz (±1 dB)
S/N	: 90 dB (1 kHz) (IHF-Aネットワーク)
ダイナミックレンジ	: 91 dB (1 kHz)
チャンネル数	: 2 (ステレオ)

FMチューナー部

受信周波数帯域	: 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度	: 11 dBf (0.8 μV/75、モノラル、S/N: 30 dB)
S/N	: 65 dB (IHF-Aネットワーク)
周波数特性	: 30 ~ 15,000 Hz (±3 dB)
ステレオセパレーション	: 35 dB (65 dBf入力、1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数帯域	: 522 ~ 1,629 kHz
実用感度	: 30 μV (S/N: 20 dB)
実効選択度	: 50 dB (±9 kHz)

TVチューナー部

受信チャンネル	: VHF1 ~ 12 ch、UHF13 ~ 62 ch
S/N	: 60 dB (IHF-Aネットワーク)
ステレオセパレーション	: 25 dB以上 (1 kHz)
外部映像入力レベル	: 1Vp-p/75
外部音声入力レベル	: 500 mV
実用感度	: 6 dBμ (75、モノラル音声)
映像S/N	: 40 dB以上 (59 dBμ映像入力、白100%)
映像雑音制限感度	: 42 dBμ

モニター部

画面サイズ	: 5.8インチワイドディスプレイ (有効表示面積 71.8 × 127.2 mm)
有効画素数	: 280,800画素 (234 × 1,200)
方式	: TFTアクティブマトリクス方式、透過型
バックライト	: 冷陰極コノ字型
使用温度範囲	: -10 ~ +50
保存温度範囲	: -20 ~ +80
スライド角度調整	
ステップ数	: 8ステップ

アンプ・共通部

最大消費電流	: 10.0A
最大出力	: 35 W × 4
定格出力	: 16 W × 4 (50 ~ 15,000 Hz、5%)
ラウドネス コンター	: 9.0 dB (100 Hz) 6.5 dB (10 kHz)
トーン コントロール	: バス ±12 dB (100 Hz) トレブル ±12 dB (10 kHz)
負荷 インピーダンス	: 4 (4~8 使用可能)
使用電源	: DC 14.4 V (10.8~15.1 V使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式

GPS部

方式	: L1、C/AコードGPS SPSスタンダード・ポジ ショニング・サービス
受信方式	: 8チャンネル マルチ チャンネル 受信方式
受信周波数	: 1,575.42 MHz
感度	: - 130 dBm
測位更新時間	: 約1回/1秒

GPSアンテナ

アンテナ	: マイクロストリップ平面ア ンテナ/右円偏波
------	----------------------------

TVアンテナ

出力端子 アンテナ	: 3.5 ミニプラグ × 4
ケーブル長	: 6 m

外形寸法

本体	: 178(W) × 100(H) × 165(D) mm
GPSアンテナ	: 51(W) × 53(H) × 15(D) mm
TVアンテナ	: 30(W) × 186(H) × 36(D) mm
リモコン	: 38(W) × 153(H) × 33(D) mm

質量

本体	: 2.9 kg
リモコン	: 80g
GPSアンテナ	: 130 g
TVアンテナ	: 300 g (収納時、アンテナ ベース含む)

付属品

CD-ROM ディスク	: 1
リモコン	: 1
単4形アルカリ 乾電池(LR03)	: 2
マイクユニット	: 1
コード類	: 1式
取付ネジ類	: 1式
取扱説明書	: 1
使い方辞典	: 1
ワンポイント ガイド	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書発行 兼登録カード	: 1
ご相談窓口・修理 窓口のご案内	: 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。テレビの受信状態がよくないチャンネル(電波の弱いチャンネル)は、GPSの影響で、画面にはん点や色模様などのノイズが出ることがあります。

索引

あ行

行き先	
決める	: 50
映像	
映像切り換え	: 30
音楽	
切り換え	: 26
音楽用CD	
一時停止	: 65
スキラン再生	: 65
選曲	: 63
早送り/早戻し	: 63
ランダム再生	: 64
リスト	: 32
リピート再生	: 64
MD	
お手入れ	: 119
スキラン再生	: 69
セットする	: 20
選曲	: 66
取り扱い	: 118
早送り/早戻し	: 66
ランダム再生	: 68
リスト	: 32
リピート再生	: 68
音質	
アッテネーター	: 29
トレブル	: 100
バス	: 100
バランス	: 100
フェーダー	: 100
ラウドネス	: 100
音声	
音声案内	: 54
音声操作	
場所を呼び出す	: 58
ルート探索 (ディスクセット時)	: 61

か行

画質	
明るさ	: 34
色合い	: 34
色の濃さ	: 34
黒の濃さ	: 34
コントラスト	: 34
画面	
オープニング画面	: 19
現在地画面	: 40
交差点拡大図	: 52
スクロール画面	: 40
昼画面/夜画面	: 11
メニュー画面	: 46
現在地	
現在地がわかる 仕組み	: 106
表示する	: 38
誤差	
誤差について	: 109
さ行	
ジャイロセンサー	
学習・補正機能	: 107
リセット	: 22
初期設定	
外部入力(AUX)の 設定	: 102
TVアンテナの設定	: 104
VTR入力の設定	: 103
自律航法	
自律航法の概要	: 106
ソース	
切り換え	: 26

た行

地図	
動かす	: 39
縮尺を変える	: 41
地図表示の見かた	: 40
表示方法を変える	: 42
地図表示切り換え	
スカイビュー	: 43
選択する	: 42
ツインビュー	: 43
ノーマルビュー	: 43
ハイウェイモード	: 43
ディスク	
お手入れ	: 117
セットする	: 18
ディスクセットでの 取り扱い	: 116
ルート探索	: 61
テレビ	
エリアプリセット チューニング	: 86
プリセット チューニング	: 85
自動選局	: 81
手動選局	: 81
チャンネル表示	: 85
BSSM	: 82
プリセットメモリー	: 84
メイン/サブ切り換え	: 88
リスト	: 32
電源	
入れる/切る	: 19

な行

ナビゲーション	
使う	: 38
初めて使う	: 22

は行

ハイウェイモード	
施設情報を見る	: 44
ハイウェイモードにする	: 42
フロントパネル	
フロントパネルの開閉	: 16
フロントパネルの角度調節	: 17

ま行

マップマッチング	
マップマッチングについて	: 107
マルチCD	
一時停止	: 99
コンプレッション	: 98
スキャン再生	: 97
選曲	: 91
ダイレクトサーチ	: 92
早送り/早戻し	: 91
ラフサーチ	: 93
ランダム再生	: 96
リスト	: 32
リピート再生	: 94
メニュー	
選びかた	: 46
メニューの種類	: 48

ら行

ラジオ	
エリアプリセット	
チューニング	: 76
交通情報	: 78
自動選局	: 71
手動選局	: 71
プリセット	
チューニング	: 75
BSM	: 72
プリセットメモリー	: 74
リスト	: 32
リセット	
ジャイロセンサー	: 22
本体	: 105
リモコン	
電池を入れる	: 12
ボタンの説明	: 13
ルート	
迂回路探索	: 57
オートリルート	: 53
音声案内	: 54
設定する	: 50
外れたとき	: 53
道順を確認する	: 56
ルート案内	: 52
ルートスクロール	: 56
ルート探索	: 50
ルートの概要	: 49


わ行

ワイド画面	
ズーム	: 36
ノーマル	: 36
フル	: 36

アルファベット

GPS	
GPSの概要	: 106
GPSの誤差	: 109
ディファレンシャル	
GPS (D-GPS)	: 108
VICS	
VICSの概要	: 112

ナビゲーション用語の解説

 のページにも関連する説明があります。

測位

「自分が今どこにいるのか？」を調べることを測位といいます。本機は、GPSや内蔵のジャイロセンサーを使用して自車の現在地を測位し、その結果を地図上に表示しています。

現在地・自車位置

自分の車（自車）の現在地のことです。現在地を知りたいときは、現在地ボタンを押してください。画面の中央に自車マーク▲が表示されます。

GPS (Global Positioning System) グローバル ポジショニング システム (106ページ)

現在地を測位するための中心的方法です。3つ以上のGPS衛星（人工衛星）から電波を受信して、現在地を測位します。ただし、トンネルの中やビルの陰など、GPS衛星の電波が受信できない場所では測位ができません。

3次元測位・2次元測位 (106ページ)

GPSによる測位の状態を表します。GPS衛星の電波の受信状態が良いときは3次元測位になり、現在地の緯度・経度と高度がわかります。受信状態があまり良くないときは2次元測位になり、緯度・経度がわかります。高度はわからないため、3次元測位よりも誤差がやや大きくなります。

自律航法 (106ページ)

現在地を測位する方法のひとつです。内蔵のジャイロセンサーで、車がどの方向にどのくらいの距離を走ったか調べて、現在地を割り出します。自律航法では、GPS衛星の電波が受信できないときでも、現在地を測位することができます。

ジャイロセンサー (107ページ)

車の走った距離と曲がった方向を調べるためのセンサーです。走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで検出しています。

車速パルス

車の走った距離を計算するために必要な信号です。車のコンピューターから出力されており、この車速パルスにある係数をかけると、車の走った距離が算出されます。

ジャイロセンサーの学習・補正機能 (107ページ)

内蔵のジャイロセンサーは、過去に発生した誤差を学習しており、学習内容に応じて、車の走った距離と曲がった方向を補正しています。このため、走行を重ねるにつれて学習内容が増え、測位の精度が高くなります。

マップマッチング (107ページ)

誤差のため、自車マークが実際に走っている道路からずれて表示されたときに、そのずれを補正して、自車マークを道路上に合わせる機能です。

VICS ビークル インフォメーションアンド コミュニケーション システム (Vehicle Information & Communication System) (112ページ)

1996年春、首都圏からサービスが開始された、道路交通情報通信システムです。最新の交通情報は、FM多重放送の電波や、道路脇に設置された「ビーコン」という装置から送信されます。この電波を専用受信機で受信すると、ナビゲーションの画面上で最新の交通情報を見ることができます。当社では、FM多重放送によるVICS情報を受信できる「ND-F3」と、ビーコンによるVICS情報を受信できる「ND-B1」または「ND-B2」を別売しています。



お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

お客様相談センター

カーステレオ/カーナビゲーション製品に関するお問い合わせ窓口

0070-800-818111

家庭用オーディオ/ビデオ製品に関するお問い合わせ窓口

0070-800-818122

カタログのご請求に関する窓口

0070-800-818133

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1998

< 98H00F0I01 > < CRA2564-B >